

## 過去アンケート調査

### ① 第2次みどりの基本計画の策定時のアンケート調査

対象者：吹田市在住の20歳以上の方3,000名を無作為抽出

実施期間：平成21年（2009年）9月18日から平成21年（2009年）10月31日まで

回収結果：配布数：3,000 回収数：1,240 回収率：41.3%

### ② 吹田市の公園とみどりに関するアンケート調査

対象者：吹田市在住の18歳以上、85歳未満の方2,000名を無作為抽出

実施期間：令和4年（2022年）6月

回収結果：配布数：2,000 回収数：752 回収率：37.6%

### 調査結果

次項以降に掲載

## 資料7 みどりに関する市民の意向

### (1)市民アンケート調査の概要

#### ①目的

「緑」の量・質・機能などに対する満足度、守りたい「緑」、つくりたい「緑」などに関する市民の意向を把握することを目的として、市民アンケート調査を実施しました。なお、本アンケートで対象とする「緑」とは、「住宅の草花や街路樹ばかりではなく、公園・広場、農地、樹林地、河川などの水辺などを含むもの」と定義しました。

#### ②対象者・実施期間・回収結果

- a) 対象者 : 吹田市在住の20歳以上の方3,000名を無作為に抽出。
- b) 実施期間: 平成21年(2009年)9月18日から平成21年(2009年)10月31日まで
- c) 回収結果: ●配布数: 3,000 ●回収数: 1,240 ●回収率: 41.3%

### (2)市民アンケート調査の結果

#### ①吹田市に愛着を感じるどころ(複数回答)

吹田市に愛着を感じるどころについて、「万博公園がある」(49.8%)と回答する割合が最も多く、次いで、「大きな公園があり緑が多い」(47.3%)、「美しい街路がある」(25.2%)と回答する割合が多くありました。公園や緑の次に、街路へ愛着を感じている傾向があります。

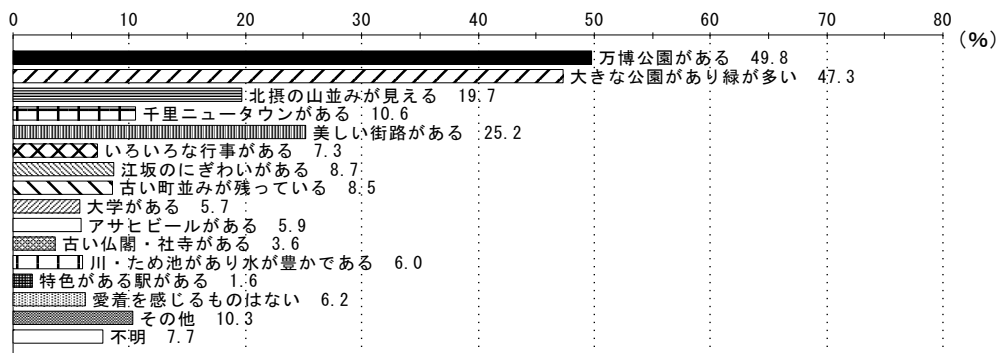


図 資.7.1 吹田市に愛着を感じるどころ (今回調査:平成21年(2009年))

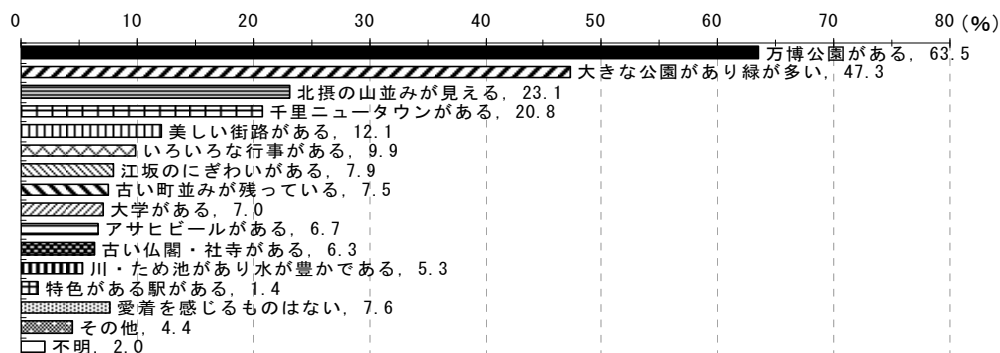


図 資.7.2 吹田市に愛着を感じるどころ (前回調査:平成5年(1993年))

## ②市内で気軽に自然とふれあう場所(複数回答)

市内で気軽に自然とふれあう場所について、「緑のある公園」(79.3%)と回答する割合が最も多くありました。前回調査時(平成5年(1993年))と比べて、「川や水路」、「堤防や河川敷」と回答する割合が大きく増えていることから、水辺を利用して自然とふれあう市民が増加している傾向が伺えます。

地域別にみると、「山林・竹林」と回答する割合は、市域北部の千里ニュータウン・万博・阪大地域(33%)、千里山・佐井寺地域(31%)、山田・千里丘地域(31%)で多く、また、「堤防や河川敷」と回答する割合は、市域南部のJR以南地域(54%)、豊津・江坂・南吹田地域(36%)、片山・岸部地域(22%)で多くありました。

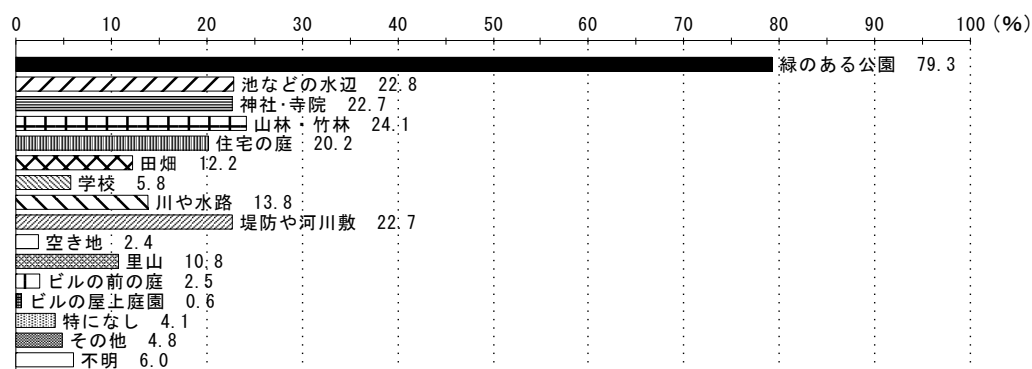


図 資.7.3 市内で気軽に自然とふれあう場所(今回調査:平成21年(2009年))

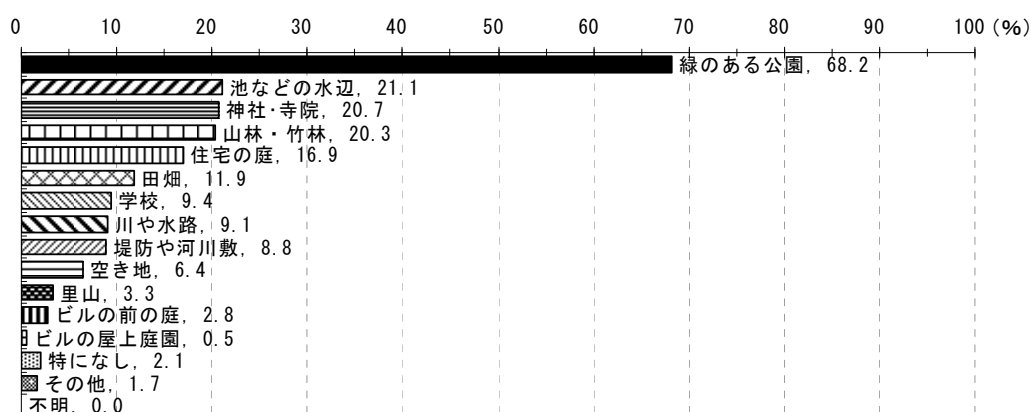


図 資.7.4 市内で気軽に自然とふれあう場所(前回調査:平成5年(2009年))

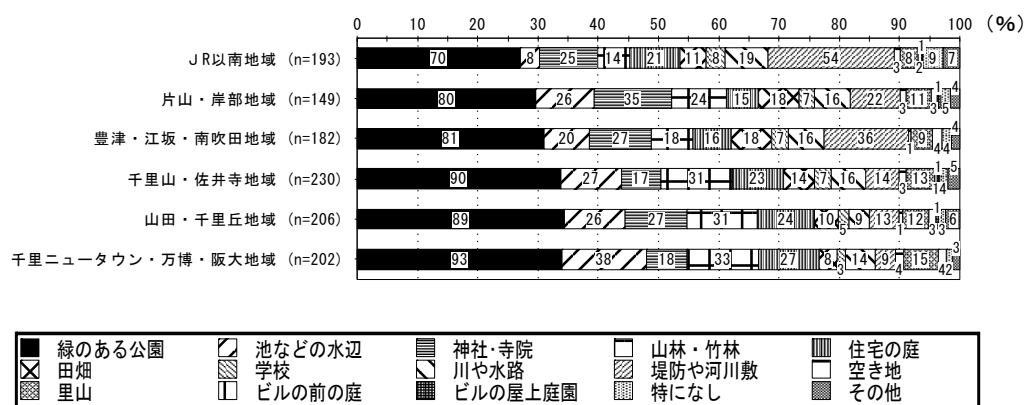


図 資.7.5 地域別にみた気軽に自然とふれあう場所(今回調査:平成21年(2009年))

### ③吹田市の「緑」の量(単一回答)

吹田市の「緑」の量について、「多い」と回答する割合と「やや多い」と回答する割合を合わせて、44.4% (=19.5%+24.9%) となることから、半数近くの調査対象者は、吹田市の「緑」の量が普通よりも多いと感じていることがわかりました。吹田市の「緑」の量の経年的な変化については、「変わらない」(46.4%)と回答する割合が最も多かったものの、「少なくなった」(36.9%)と回答する割合は、「多くなった」(10.3%)と回答する割合の約3倍であることがわかりました。

地域別にみると、市域南部の3地域では「緑」の量が普通よりも少なく、市域北部の3地域では「緑」の量が普通よりも多いと感じられており、片山・岸部地域では最も「緑」の量が少なくなったと感じられていることがわかりました。

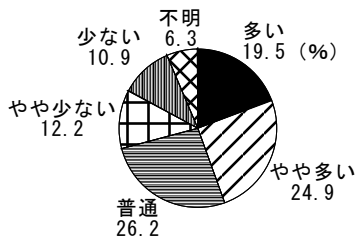


図 資. 7.6 現状の「緑」の量

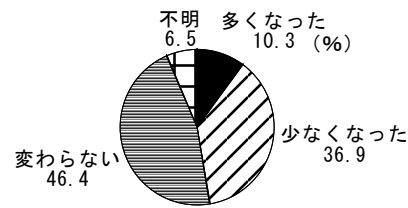


図 資. 7.7 住み始めたところからの「緑」の量の変化

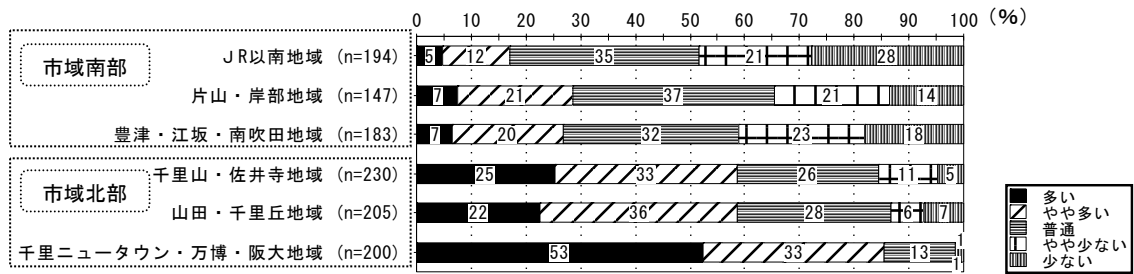


図 資. 7.8 地域別でみた現状の「緑」の量

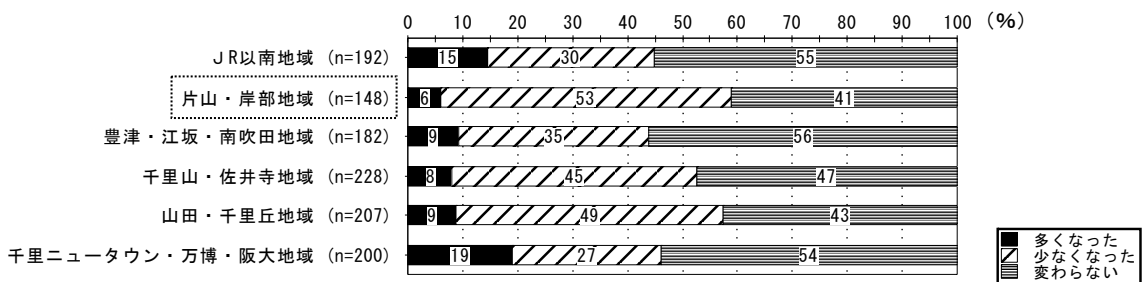


図 資. 7.9 地域別でみた住み始めたところからの「緑」の量の変化

#### ④今後の吹田市の「緑」に望まれる方向性(単一回答)

今後の吹田市の「緑」に望まれる方向性について、「今ある「緑」を適切に維持管理し、質を充実させてほしい」(35.5%)と回答する割合が、他の項目と比べて若干多くありました。

地域別にみると、市域南部の3地域では「緑」をもっと増やしてほしい」と回答する割合が最も多く、市域北部の千里山・佐井寺地域と千里ニュータウン・万博・阪大地域では「今ある「緑」を適切に維持管理し、質を充実してほしい」と回答する割合が最も多く、市域北部の山田・千里丘地域では「今ある「緑」を守ってほしい」と回答する割合が最も多くありました。

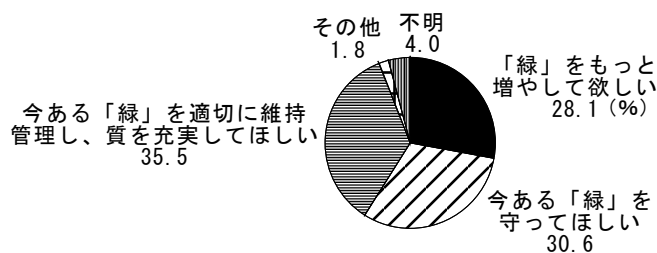


図 資. 7.10 今後の吹田市の「緑」に望まれる方向性

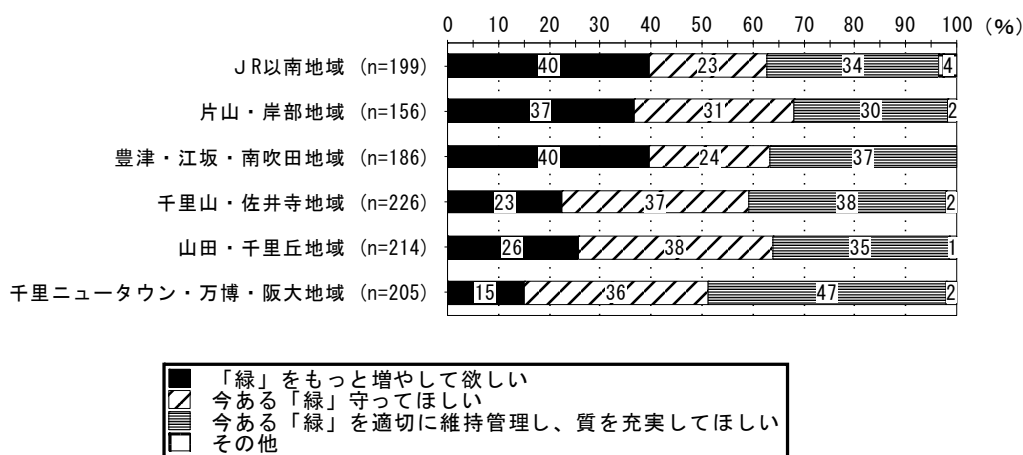


図 資. 7.11 地域別にみた今後の吹田市の「緑」に望まれる方向性

### ⑤ 行政に求める整備や取組(複数回答)

行政に求める整備や取組について、「公園や広場を整備・充実させる」(69.8%)と回答する割合が最も多く、次いで「道路、学校、河川などの公共空間の緑化を推進する」(62.3%)、「住宅や工場などの開発の事業者」に、「緑」を守り、増やすよう指導する」(35.0%)、「市民の緑化意識や環境意識を高める普及啓発活動を推進する」(28.1%)の順に回答する割合が多くありました。

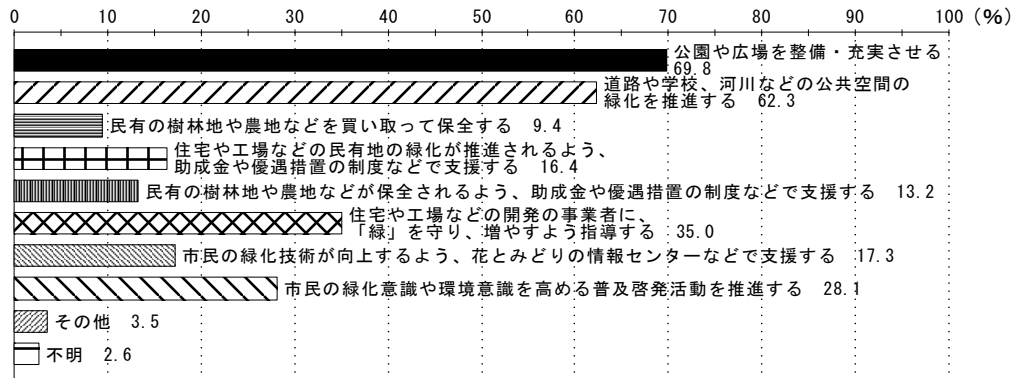


図 資. 7.12 行政に求める整備や取組

### ⑥ 「緑」のまちづくりのために、市民が取り組んでみたい活動(複数回答)

「緑」のまちづくりのために、市民が取り組んでみたい活動について、「自宅のベランダや玄関先に花や鉢植えを飾る」(54.1%)と回答する割合が最も多く、次いで「身近な公園、道路、河川などに花や木を植える」(25.7%)、「家庭菜園をつくる」(24.5%)、「市民農園などで作物を育てる」(19.7%)の順に回答する割合が多くありました。

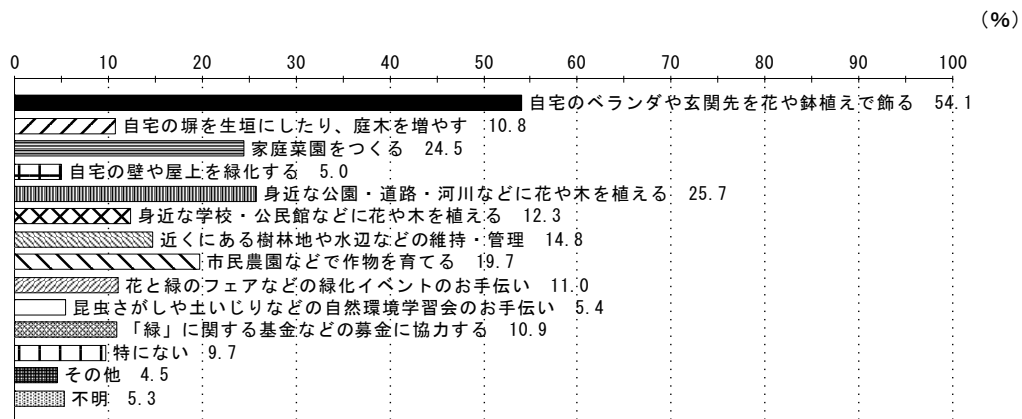


図 資. 7.13 「緑」のまちづくりのために、市民が取り組んでみたい活動

### ⑦ 市民アンケート調査のまとめ

現状で吹田市の「緑」は豊かであると感じられており、10年前と比べて街路や河川などの水辺に対する市民の評価が向上している傾向があります。

今後は、公園・緑地や街路を中心として、「緑」の適切な維持管理と質の充実が求められており、行政の取組として、「緑」の整備・充実、開発事業者への緑化指導、市民への緑化や環境意識の普及啓発、また、市民の取組として、自宅などでできる身近な取組、農業に関連した取組などの必要性を確認することができました。

## ⑧自由意見のまとめ

### a) 公園・緑地の整備

公園・緑地の整備に関しては、自然がなるべく残された公園、芝生のある公園、ゆったりできるようなスペースやベンチのある公園、みんなが行きやすい・使いやすい公園などの整備・充実を望む意見がありました。

### b) 公園・緑地の維持管理

公園・緑地の維持管理に関しては、ゴミの清掃、花壇・植木の手入れなどの管理状況に不満を感じている意見がありました。また、自治会、高齢クラブ、近隣の住民などがその対応にあたってよいという意見がありました。公園内のゴミをリサイクルして、草花の肥料などに活用するという提案もありました。

### c) 「緑」の保全

「緑」の保全に関しては、樹林地、公園・緑地、農地などの今ある「緑」を守ってほしいという意見が多くありました。また、そのために、樹林地と農地を買い取って保全することや、近隣の都市と協力していくことなどが大切であるという意見がありました。神社周辺、寺周辺、日本家屋周辺の「緑」の保全も大切であるという意見もありました。

### d) 道路の「緑」

道路の「緑」に関しては、枝の剪定、草むしり、害虫などの駆除をしていなかったり、遅かったりするので、十分対応してほしいという意見がありました。その反面、新芽が出ている時期や、紅葉がきれいになりそうな時期に剪定されてしまうことを残念に感じている意見もありました。また、駅前の公共施設や道路などには、季節の花、街路樹が植えられており、花や緑があふれていて素晴らしいと感じている意見もありました。

### e) 水辺

水辺に関しては、河川の堤防への桜などの植樹や、親水空間の設置を望む意見がありました。また、水生生物や「緑」が豊かになるように、清掃活動をしてはどうかという意見もありました。

### f) 万博記念公園

万博記念公園に関しては、愛着を感じている意見が多く、「緑」豊かで様々な施設があり守っていくべき、集客施設としてもっとアピールすべきといった意見がありました。また、エキスポランドが閉鎖されたことによるマイナス効果を懸念している意見もありました。

### g) マンションなどの開発事業

マンションなどの開発事業に関しては、開発事業により自然が少なくなっていると感じている意見があり、最低限今ある自然の状態を維持することや、マンションなどの屋上緑化を進めることを望む意見がありました。

### h) 普及・啓発と市民参加

普及・啓発に関しては、講演、イベント、ホームページ、パンフレットなどによるわかりやすくして行動に結びつくような情報発信、自治会やまちのグループを活用した交流による「緑」の維持管理活動、「緑」の相談窓口の設置などを望む意見がありました。

市民参加に関しては、参加するための組織、参加しやすい仕組みづくり、道路の清掃や草花の植付けなどの身近な取組を継続していくことが大切であるという意見がありました。また、子供への環境教育・学習を目的とした体験学習を望む意見もありました。

令和4年度 市民意識アンケート

吹田市の公園とみどりに関するアンケート調査

令和4年（2022年）11月

吹田市 花とみどりの情報センター

吹田市 土木部 公園みどり室

## 目次

|                                       |        |
|---------------------------------------|--------|
| 市民アンケート調査の概要                          | p2     |
| 問 1：公園の利用頻度                           | p3     |
| 問 2：問 1 で公園を「利用をしない」と回答した人が公園を利用しない理由 | p4     |
| 問 3：コロナ禍の「公園のつかい方」で変化した点              | p5     |
| 問 4：普段利用する公園の大きさ                      | p6     |
| 問 5：普段利用する公園を最も利用する理由                 | p7     |
| 問 6：公園での過ごし方                          | p8     |
| 問 7：公園の維持管理の評価                        | p9     |
| 問 8：公園での危険行為、迷惑行為の有無                  | p10    |
| 問 9：公園のルール必要性                         | p11    |
| 問 10：市内のみどりの量について                     | p12    |
| 問 11：自宅周辺にあればよいと思う公園                  | p13,14 |
| 問 12：公園にあればよいと思うもの                    | p15    |
| 問 13：緑化のための助成制度の認知度                   | p16    |
| 問 14：みどりのボランティア制度の認知度                 | p17    |
| 問 15：みどりのボランティア活動への参加意欲について           | p18    |
| 問 16：参加してみたいボランティア活動について              | p19    |
| 問 17：花とみどりの情報センターの認知度について             | p20    |
| 問 18：花とみどりの情報センターの広報活動の認知度について        | p21    |
| 問 19：花とみどりの情報センターの取り組みの認知度について        | p22    |
| 問 20：公園や緑地などで、あれば参加したいみどりに関するイベント     | p23    |
| 問 21：公園の樹木をこれからどう管理していくのがよいかについて      | p24,25 |
| 問 22：街路樹に求める「役割」として重要に思うもの            | p26    |
| 問 23：街路樹の剪定についてどう思うか                  | p27,28 |
| 問 24：安全に管理できない街路樹をこれからどうしていくのがよいか     | p29,30 |
| 問 25：公園の樹木や街路樹の育て方、みどりのまちづくりについてのご意見  | p31    |
| 問 26：植物を育てることへの意識                     | p32    |
| 問 27：植物を育てる目的                         | p33    |
| 問 28：どのような植物を育てているか                   | p34    |
| 問 29：市内の公園やみどりについてのご意見                | p35    |
| 参考資料                                  | p36~   |

## (1) 市民アンケート調査の概要

### 1) 目的

市民の「公園」や「花とみどりの情報センター」の利用実態、および街路樹等、みどりのまちづくりへの課題を把握し、公園管理の質の向上やみどり豊かな環境づくりに関する施策検討の資料として活用することを目的に、アンケート調査を実施。今回のアンケートは郵送でお知らせし、WEB または返送にてご回答頂いた。

### 2) 対象者・回収率

発送数：2,000 通（18 歳以上 85 歳未満無作為抽出）、到達数：1991 通

回収：752 件（回収率 37.6%）

- ・郵送 552 件
- ・WEB（グーグルフォーム）200 件

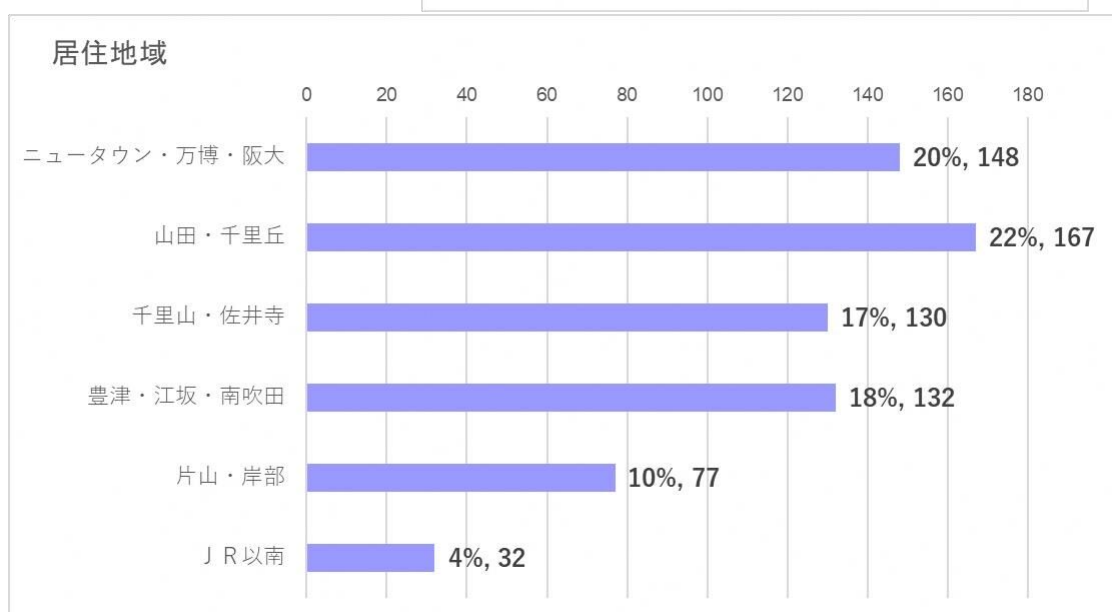
### 3) 調査時期

令和 4 年 6 月

## (2) 主な集計結果

### 1) 個人の属性

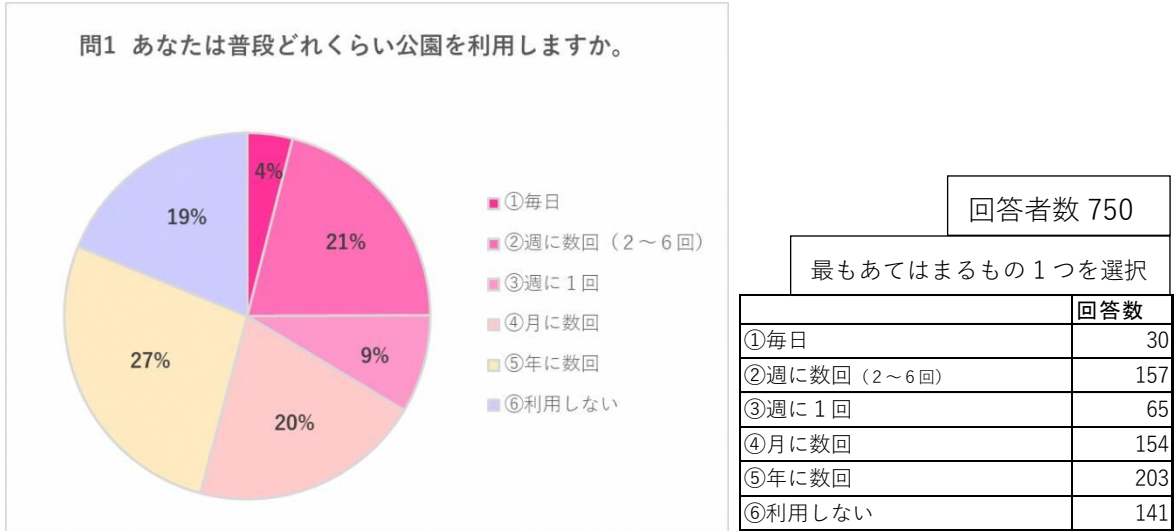
- ・年代
- ・居住地域



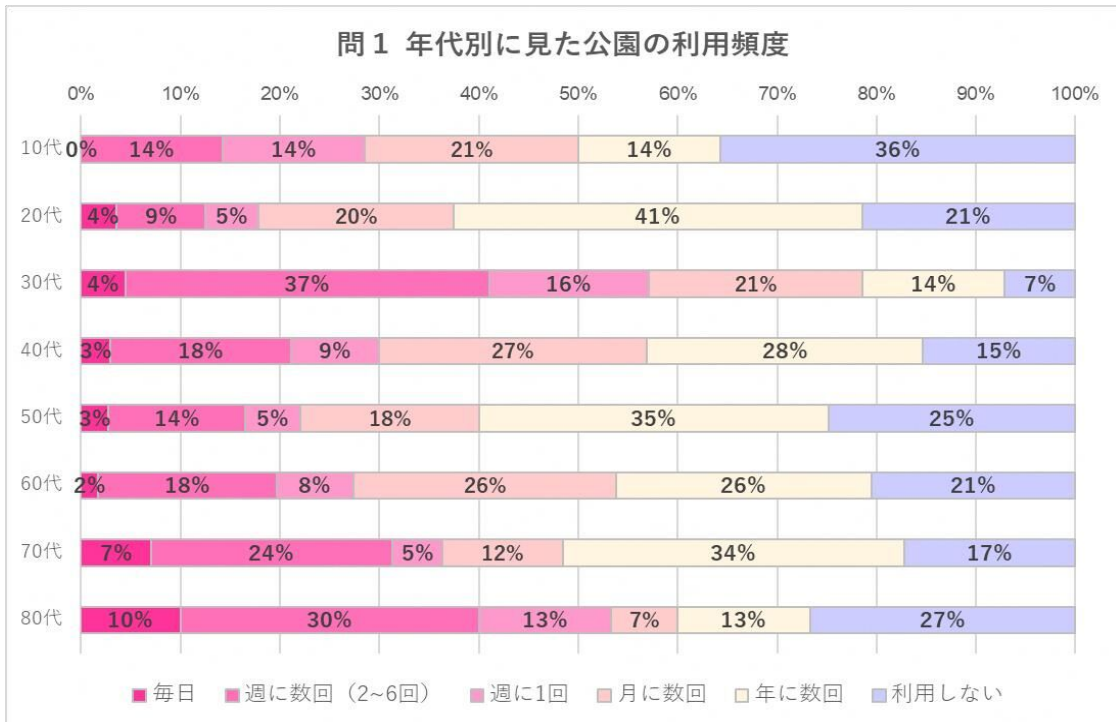
問1：公園の利用頻度

約8割の人が年に数回以上、公園を利用

全体的には「年に数回」公園を利用する人の割合が一番多く、約8割の人が毎日～年に数回公園を利用している。「利用しない」と回答した人の割合は2017年の調査時の約3割より1割減り、公園を利用する人の割合が高くなっている。



10代 (18歳・19歳) では公園を「利用しない」割合が最も多いが、他の年代では7割以上の方が「年に数回」以上公園を利用している。一般的に子育て中の人が多い30代では「週に数回利用」が最も多く、約9割の方が公園を利用している。仕事が落ち着いてくる70代・80代の方も「週に数回利用」の割合が高くなっている。



問2：問1で公園を「利用をしない」と回答した人が公園を利用しない理由

### 公園に行く目的がない

子どもが大きくなった等の理由で、公園に行く「目的がない」と答えた人が最も多く、他には「魅力的に感じる設備や理想とする公園像」を求めるとの意見、仕事等で公園を利用する「時間がない」、「近くに公園がない」という理由が多かった。

今回のアンケートでは「万博記念公園を除く」という形で聞いているため、万博記念公園のみ利用という回答も挙げられた。

【公園を利用しない理由 主なご意見 p36 参考資料あり】

| 回答者数 131     | 自由記入 |
|--------------|------|
|              | 回答数  |
| 1 目的がない      | 57   |
| 2 魅力がない      | 18   |
| 3 時間がない      | 16   |
| 4 近くにない      | 13   |
| 5 万博記念公園のみ利用 | 5    |
| 6 その他        | 22   |

【どのような点が改善されればより公園を利用したいか。】

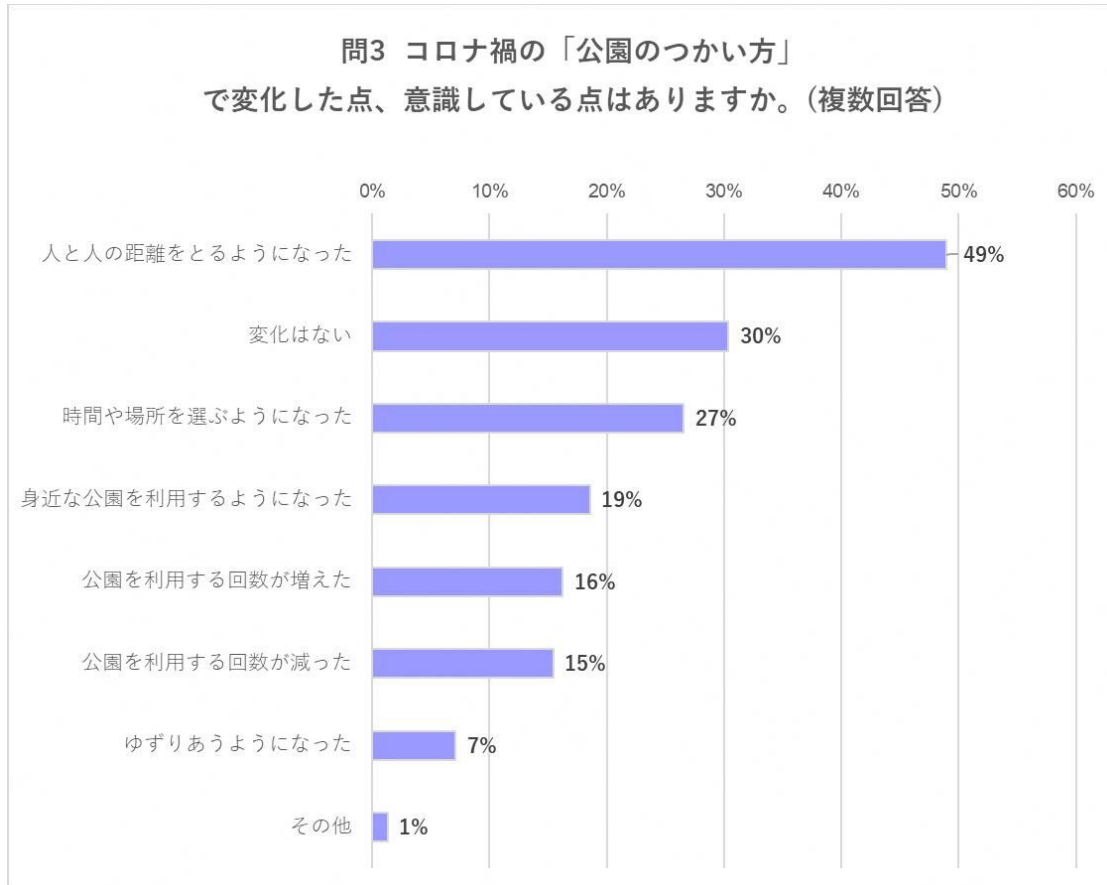
|   |
|---|
| オープンカフェなどがあればいくかも。                                      |
| 近くにできたら利用したい。   |
| 定期的に新しい遊具に変えると良い。                                       |
| ベンチが綺麗ならば行ってみたいが座りたくないベンチしかない。                          |
| 大規模イベントの開催。   |
| 花とか観葉植物があれば別だが。   |
| ジョギングコースがあれば利用します。                                      |
| 大人がゆっくり散歩でき途中にベンチもあり、徒歩1Km圏内にあれば利用したい。                  |
| 一人でも楽しめる公園が近くにあれば考えたい。                                  |
| 日陰で話の出来るところ、椅子あれば。                                      |
| 木や草の手入れがされて整備されていれば。                                    |
| ウォーキングコースがあたり池の辺りにカフェがあれば。                              |
| 広い芝生のスペースがあたり明るいイメージの公園だったら何度でも利用したいと思います。              |
| 大人がいけるところと変わればよい。大人が利用すると不審に思われる。                       |
| 人の多さの調整（入場制限）涼める場所があれば。                                 |
| 落ち着けるベンチや花がたくさん咲いている公園がいいです。                            |
| どこに公園があるのか広報誌で案内してほしい。                                  |
| 土日曜日にキッチンカーとかが来ていたら行くかもしれない。                            |
| 千里南公園で6時半からラジオ体操など多くの方が参加されているのを知り近くにそんな公園があればなあと思えました。 |
| ストレッチ器具、日影の場所があれば。                                      |
| みどり（草木）が多い公園が良い。  |
| 売店があり、コーヒー、軽食がゆっくりとれるスペースがあれば利用したい。                     |
| 大人が利用出来る背の高い鉄棒があれば利用したいと思います。                           |
| 夏祭りの開催やイベントがあれば休みの日に参加したい。                              |
| 四季の草花がきれいだと、休日のんびりベンチに座って買い物の途中に立ち寄ると思う。                |
| リフレッシュできる空間があると認識することが出来れば利用したいと考えるかもしれない。              |
| もっと広い公園にしてほしい。まわりに気を遣ってほしい、楽しく遊べない。                     |

問3：コロナ禍の「公園のつかい方」で変化した点

※以下、問3～問9までの設問は、問1で公園を「利用する」を選んだ人にご回答頂いた。

### 人と人の距離をとるようになった

コロナ禍の「公園のつかい方」で変化した点、意識している点として「人と人の距離をとるようになった」との回答が最も多かった。「変化はない」と答えている方も3割いらっしゃいますが、「利用時間や場所を選ぶ」等、「新しい日常」を受け入れつつ公園を利用されている様子がうかがえる。



回答者数 603

複数回答

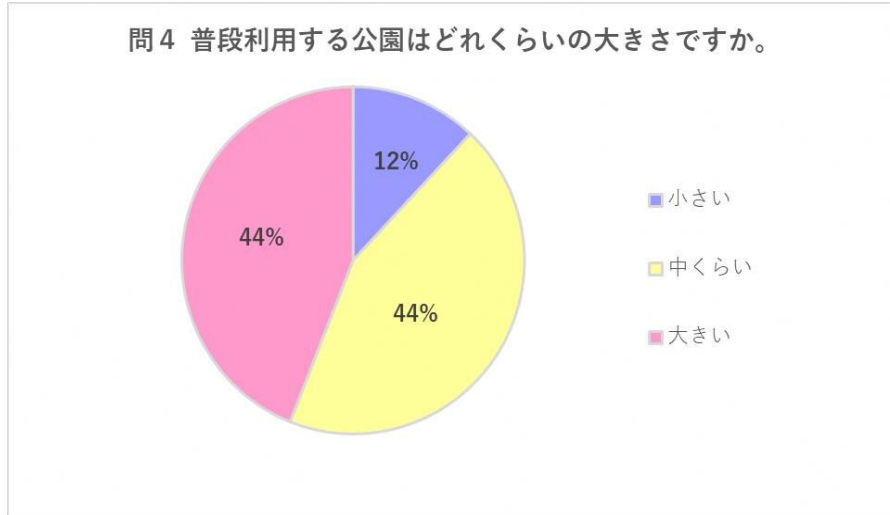
【p 36 参考資料あり】

|                  | 回答数 |
|------------------|-----|
| 人と人の距離をとるようになった  | 295 |
| 変化はない            | 183 |
| 時間や場所を選ぶようになった   | 160 |
| 身近な公園を利用するようになった | 112 |
| 公園を利用する回数が増えた    | 98  |
| 公園を利用する回数が減った    | 93  |
| ゆずりあうようになった      | 43  |
| その他              | 8   |

問4：普段利用する公園の大きさ

中くらいから大きい公園を利用する人が多い

大きな公園がより利用されている傾向にあり、小さい公園を利用している人は12%にとどまっている。



回答者数 575      最もあてはまるもの1つを選択

|                                    | 回答数 |
|------------------------------------|-----|
| 小さい（砂場や小さなすべり台などの遊具があるくらいの広さ）      | 69  |
| 中くらい（いくつかの遊具に加えて広場があり、走り回れるくらいの広さ） | 253 |
| 大きい（ジョギングに利用できるくらいの広さ）             | 253 |

具体的に挙げられた公園名称上位 10 位

|    | 公園名        | 件数  |
|----|------------|-----|
| 1  | 千里南公園      | 92  |
| 2  | 江坂公園       | 50  |
| 3  | 服部緑地       | 44  |
| 4  | 千里北公園      | 24  |
| 5  | 片山公園       | 18  |
| 6  | 桃山公園       | 17  |
| 7  | 健都レールサイド公園 | 10  |
| 7  | 佐井寺南が丘公園   | 10  |
| 7  | 佐竹公園       | 10  |
| 10 | 古江公園       | 8   |
|    | その他        | 181 |

【その他：「市内」の公園で多く挙げられた公園名称】

（万博記念公園）、南吹田公園、紫金山公園

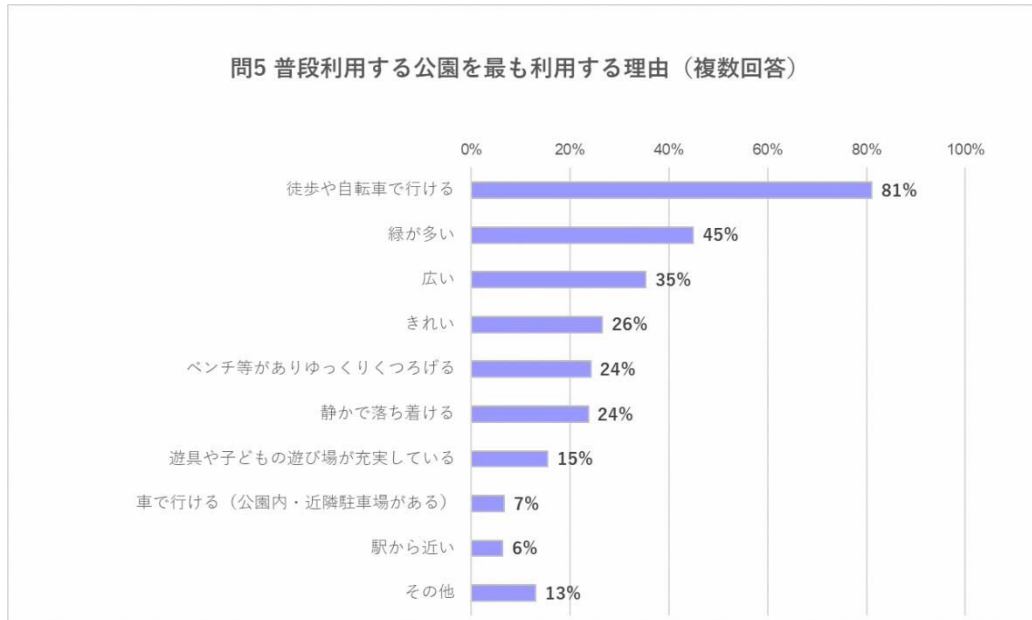
【その他：「市外」の公園で多く挙げられた公園名称】

千里中央公園（豊中市）、市場池公園（摂津市）

問5：普段利用する公園を最も利用する理由

**普段利用しやすいのは「近い」公園**

その公園を最も利用する理由として、徒歩や自転車で行けるといった「近い」を理由に選ぶ人が約8割を超えている。また緑が多いこと、「広さ」や「きれいさ」、「くつろげる」、「静かで落ち着ける」ことなども理由として多く挙げられている。



|          |      |
|----------|------|
| 回答者数 608 | 複数回答 |
|----------|------|

|                     | 回答数 |
|---------------------|-----|
| 徒歩や自転車で行ける          | 493 |
| 緑が多い                | 273 |
| 広い                  | 215 |
| きれい                 | 161 |
| ベンチ等がありゆっくりくつろげる    | 147 |
| 静かで落ち着ける            | 144 |
| 遊具や子どもの遊び場が充実している   | 94  |
| 車で行ける（公園内・近隣駐車場がある） | 41  |
| 駅から近い               | 39  |
| その他                 | 79  |

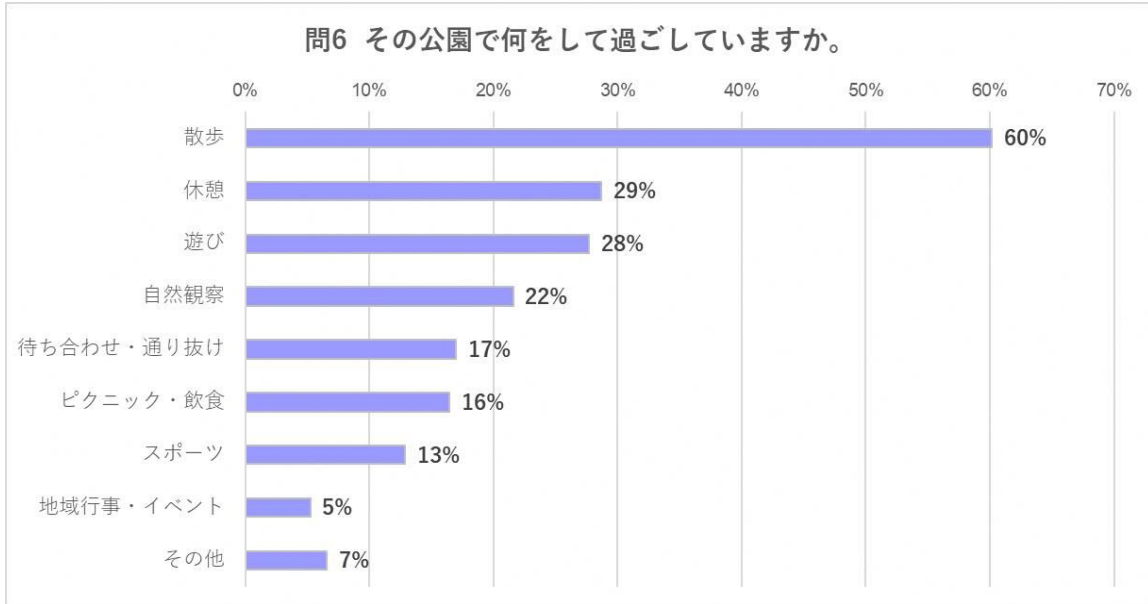
【その他の主なご意見 p37 参考資料あり】

|           |    |
|-----------|----|
| 自然・野鳥観察   | 17 |
| 運動・スポーツ   | 16 |
| 散歩・ウォーキング | 9  |
| 犬（ペット）の散歩 | 8  |
| 通り抜け      | 5  |
| その他       | 24 |

問6：公園での過ごし方

公園で最も多い過ごし方は「散歩」

公園での過ごし方については「散歩」が最も多く、6割を超えている。続いて「休憩」・「遊び」・「自然観察」をして過ごす人が多い。



回答者数 607      複数回答

|            | 回答数 |
|------------|-----|
| 散歩         | 365 |
| 休憩         | 174 |
| 遊び         | 168 |
| 自然観察       | 131 |
| 待ち合わせ・通り抜け | 103 |
| ピクニック・飲食   | 100 |
| スポーツ       | 78  |
| 地域行事・イベント  | 32  |
| その他        | 40  |

【その他の主なご意見 p.37 参考資料あり】

|           |    |
|-----------|----|
| 子どもの付き添い  | 14 |
| 運動        | 14 |
| 犬（ペット）の散歩 | 9  |
| その他       | 12 |

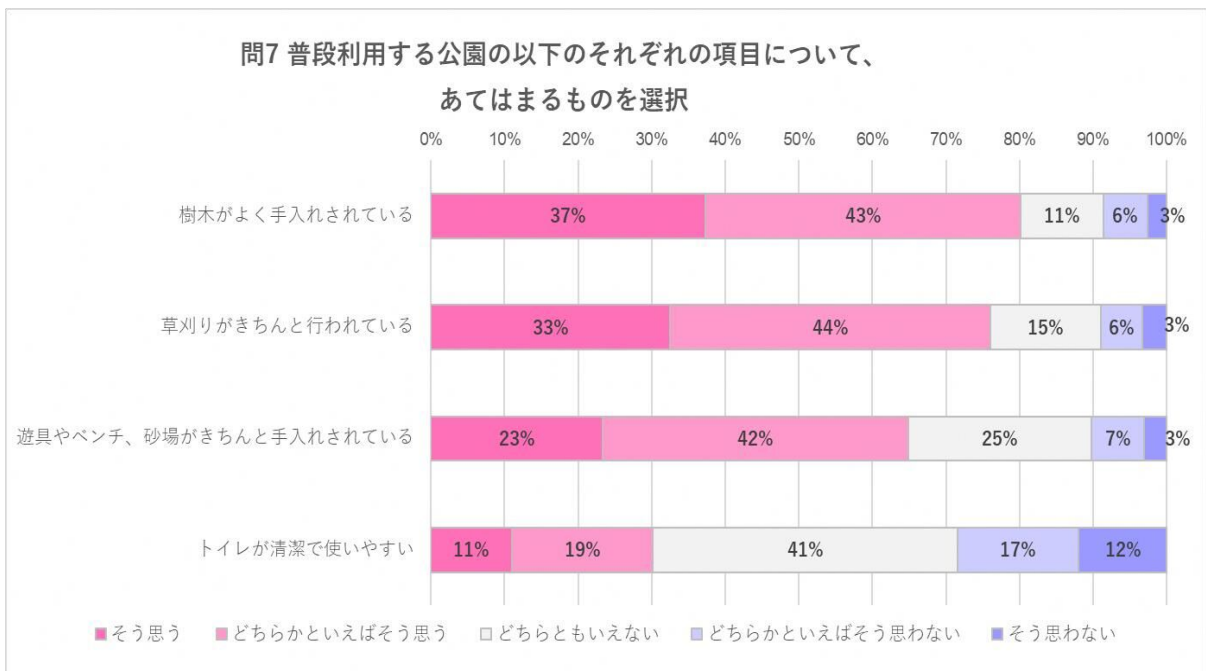
問 7：公園の維持管理の評価

公園の樹木管理、草刈りの手入れに関する評価は高く  
トイレに関する評価はやや低い

普段利用している公園の評価については、約 8 割の人が「樹木がよく手入れされている」、  
「草刈りがきちんと行われている」と回答している。

「遊具やベンチ、砂場がきちんと手入れされている」に対しては、少し評価が下がり、約  
6 割の方が「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を回答している。

「トイレが清潔で使いやすい」に対しては、約 3 割の人が、「そう思わない」を選択してお  
り、他の項目より評価が低くなっている。この傾向は 2017 年のアンケート時とほぼ同じ結  
果である。



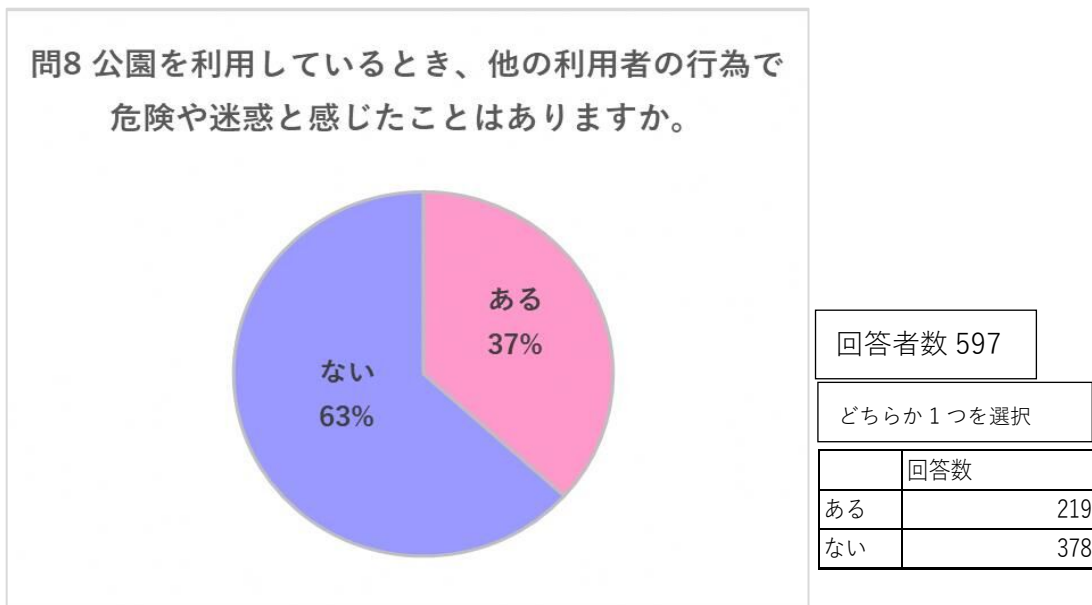
最もあてはまるもの 1 つを選択

|                            | そう思う | どちらかといえば<br>そう思う | どちらともいえない | どちらかといえば<br>そう思わない | そう思わない |
|----------------------------|------|------------------|-----------|--------------------|--------|
| 樹木がよく手入れされている              | 225  | 258              | 68        | 36                 | 16     |
| 草刈りがきちんと行われている             | 195  | 261              | 90        | 34                 | 20     |
| 遊具やベンチ、砂場がきちんと<br>手入れされている | 136  | 243              | 145       | 42                 | 18     |
| トイレが清潔で使いやすい               | 58   | 101              | 218       | 87                 | 63     |

問8：公園での危険行為、迷惑行為の有無

公園で危険を感じた行為は「ボール遊び」が多い

半数以上が危険行為や迷惑行為は「ない」と回答しているが、約4割の人は「ある」と回答。



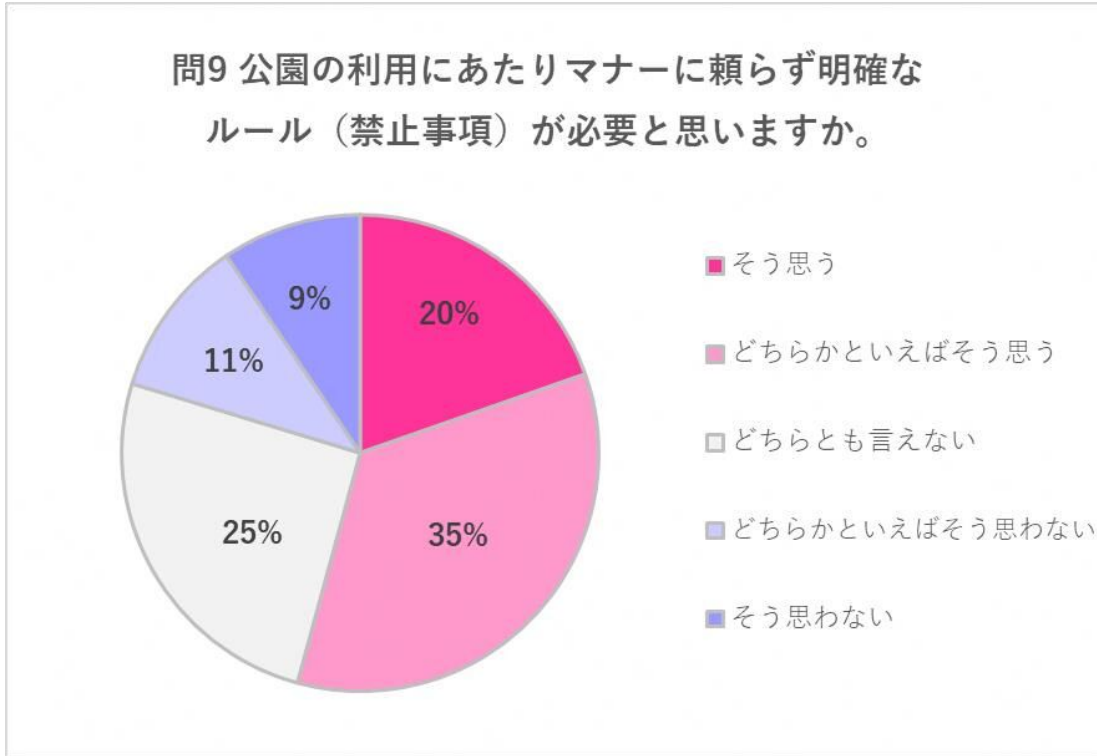
問8で「ある」と回答した方に危険や迷惑と感じた行為は、具体的にどのような行為か回答いただいた結果を分類すると以下の表の結果となる。「ボール遊び」が最も多く、狭い場所や小さな子どもがいる中でのボール遊び、硬いボールでの遊びに危険を感じたという声が多く見受けられた。続いて公園内の自転車走行や駐輪スペースのマナーが危険・迷惑と感じたという回答が多かった。

| 行為の内容                           | 件数 |
|---------------------------------|----|
| ボール遊び・球技（野球、サッカー、バドミントン等、素振り含む） | 70 |
| 自転車走行、バイク乗り入れ、駐輪スペースのマナー等       | 43 |
| 喫煙、歩きタバコ、吸い殻ポイ捨て、ゴミの放置等         | 24 |
| スケートボード、キックボード等                 | 20 |
| 小中高生の利用マナー（幼児への配慮、周りが見えていない等）   | 17 |
| 花火、騒ぎ声、夜のたまり場                   | 17 |
| 飼い主のマナー（リードを外す、糞の放置、ベンチに座らせる等）  | 16 |
| 保護者のマナー、親が目を離している               | 10 |
| 遊具の正しい遊び方を守らない                  | 8  |
| 水遊び、水道出しっぱなし、水風船                | 7  |
| 独占利用                            | 6  |
| バーベキュー                          | 5  |
| 鳥、野良猫への餌やり                      | 4  |
| 禁止場所での釣り                        | 4  |
| 遊具に居座る人、ホームレス                   | 3  |
| その他（飲酒、マスクに関する事、ジョギング等）         | 25 |

問9：公園のルールの必要性

**明確なルールが必要と感じている人は約半数**

公園利用について明確なルール（禁止事項）が必要と回答している人が約半数いることに対して、規制が増えることにより子どもの遊びが制限されるということから、ルールが必要と感じていない人は約2割、どちらとも言えないと回答した人が2割以上となっている。



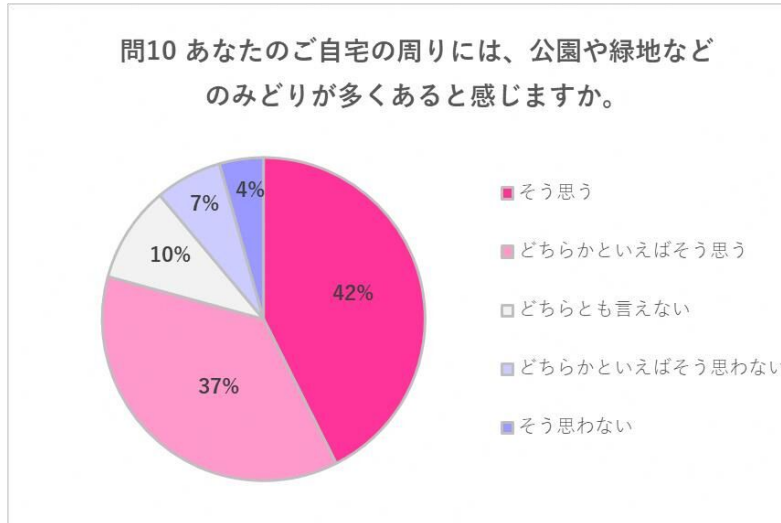
回答者数 601      最もあてはまるもの1つを選択

|                | 回答数 |
|----------------|-----|
| そう思う           | 118 |
| どちらかといえばそう思う   | 208 |
| どちらとも言えない      | 153 |
| どちらかといえばそう思わない | 65  |
| そう思わない         | 57  |

問 10：市内のみどりの量について

市内にみどりが多いと感じている人が多い

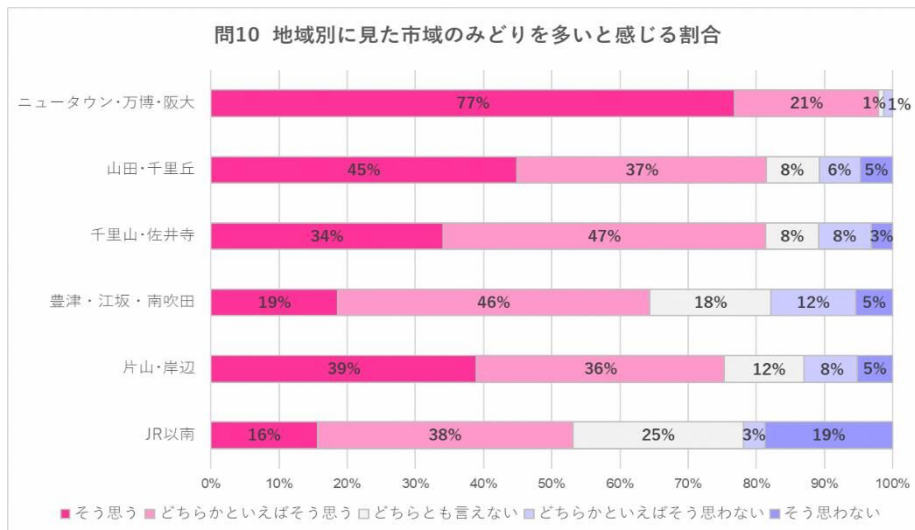
自宅周辺には公園や緑地などのみどりが多くあると約 8 割の人が感じている。



回答者数 747      最もあてはまるもの 1 つを選択

|                | 回答数 |
|----------------|-----|
| そう思う           | 318 |
| どちらかといえばそう思う   | 274 |
| どちらとも言えない      | 72  |
| どちらかといえばそう思わない | 50  |
| そう思わない         | 33  |

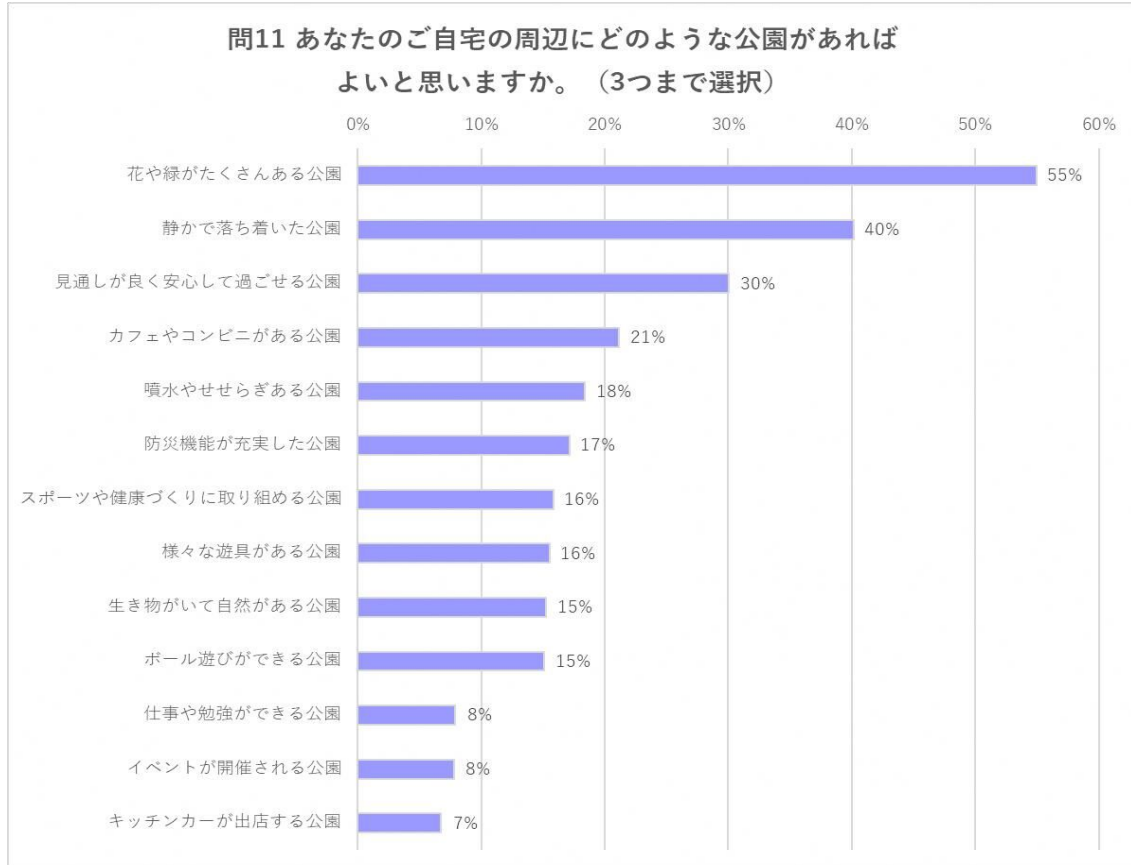
地域別にみると、千里ニュータウン・万博・阪大地域では 9 割以上の人が「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と感じている。次いで山田・千里丘となっている。JR 以南地域では「そう思わない」と回答した人は約 2 割になるが、半数以上の方は「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答している。



問 11：自宅周辺にあればよいと思う公園

**花や緑がたくさんある公園、  
静かで落ち着いた公園を求める声が多い**

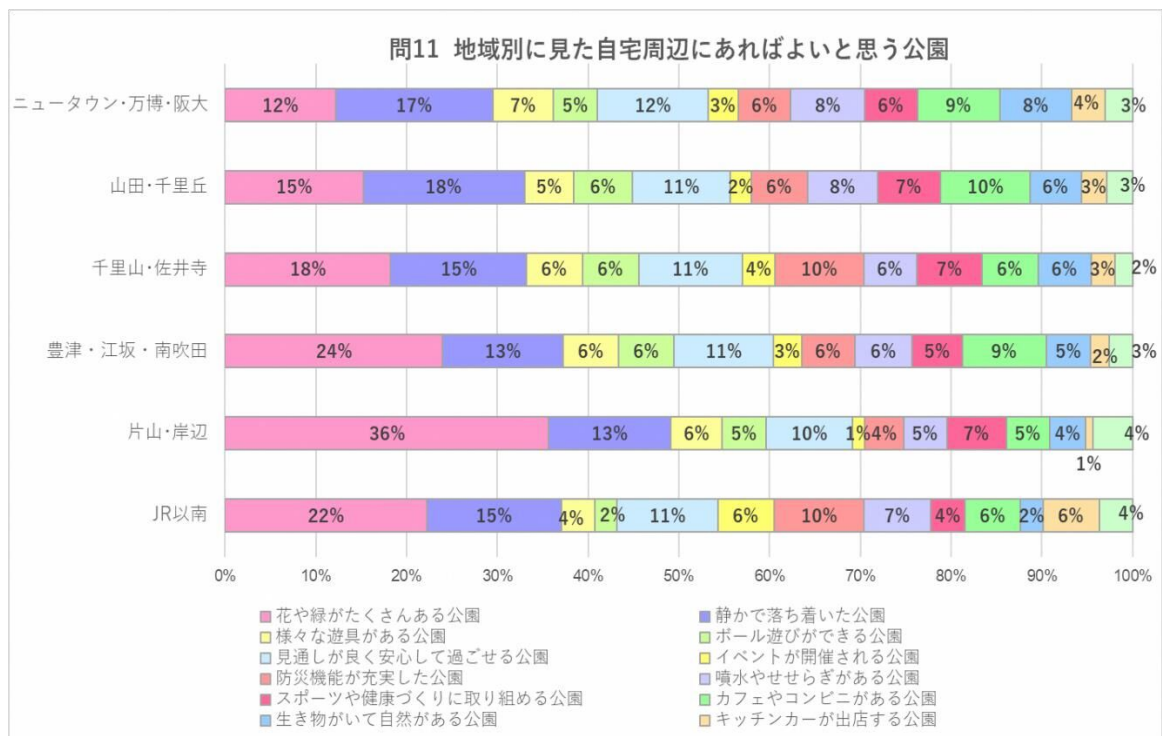
半数以上が「花や緑がたくさんある公園」を選択しており、2017年と同じ傾向である。次いで「静かで落ち着いた公園」、「見通しが良く安心して過ごせる公園」と続いている。



回答者数 695      3つまで選択

|                    | 回答数 |
|--------------------|-----|
| 花や緑がたくさんある公園       | 382 |
| 静かで落ち着いた公園         | 279 |
| 見通しが良く安心して過ごせる公園   | 209 |
| カフェやコンビニがある公園      | 147 |
| 噴水やせせらぎある公園        | 128 |
| 防災機能が充実した公園        | 119 |
| スポーツや健康づくりに取り組める公園 | 110 |
| 様々な遊具がある公園         | 108 |
| 生き物がいて自然がある公園      | 106 |
| ボール遊びができる公園        | 105 |
| 仕事や勉強ができる公園        | 55  |
| イベントが開催される公園       | 54  |
| キッチンカーが出店する公園      | 47  |

地域別にみると、北部と南部で傾向の違いが見受けられる。「ニュータウン・万博・阪大」、「山田・千里丘」地域では、「静かで落ち着いた公園」が自宅周辺にあればよいと回答した人が最も多く、「千里山・佐井寺」、「豊津・江坂・南吹田」、「片山・岸辺」、「JR以南」地域では「花や緑がたくさんある公園」と回答した人が最も多かった。



問 12：公園にあればよいと思うもの

**きれいなベンチやトイレを求める声が多い**

公園にあればよいと思うものは「ベンチ（きれいな、座り心地のよい等）」、「トイレ（きれいな、おむつ替えができる等）」が最も多い回答となった。次いで「日よけや屋根のある施設」、「花や緑」、「カフェ」、「球技ができる場所」が続いた。

2017年時に比べて、「ゴミ箱」、「駐車場・駐輪場」「区画を分けてほしい（幼児が安心して遊べるように、遊びごとに、大人がゆったりと過ごせるように）」等の意見は今回のアンケートで多く見られるようになった。

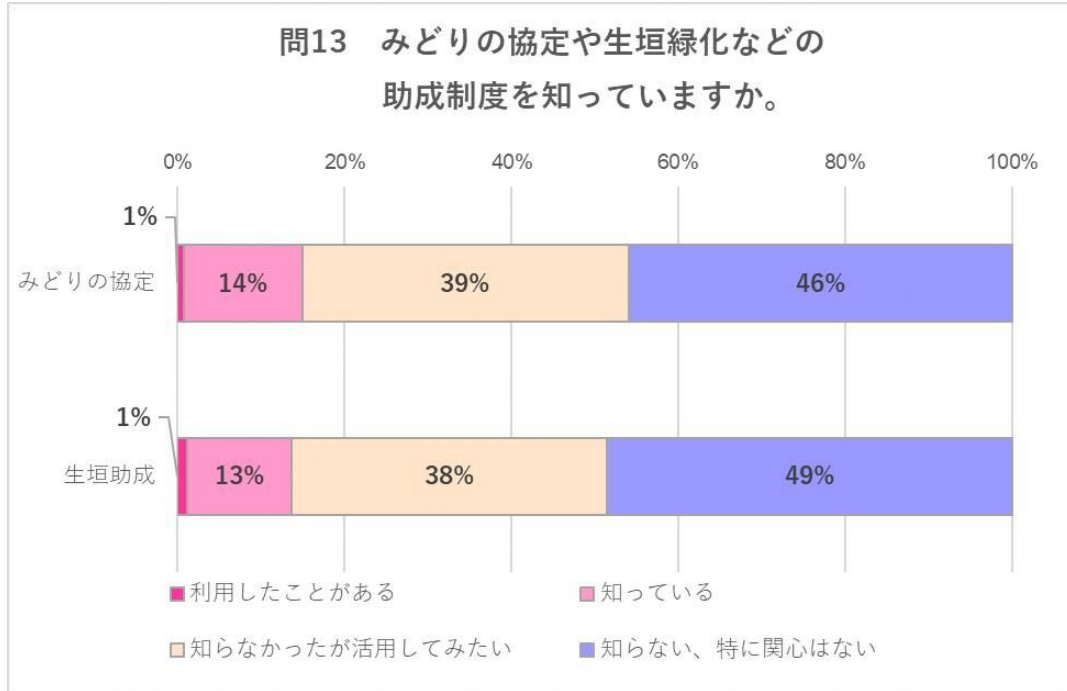
自由記入

| 公園にほしい施設                                      | 回答数 |
|---|-----|
| ベンチ（きれいな、増設、座り心地の良い、適度な間隔で等）                  | 88  |
| トイレ（きれいで清潔感のある、安全な、おむつ替えができる、子ども用等）           | 82  |
| 日陰、屋根のある施設（日よけ、雨よけ、屋根付きベンチ・テーブル、休憩スペース、木陰等）   | 60  |
| 花、緑、自然、樹木、花壇等                                 | 41  |
| カフェ（おしゃれ、手ごろな値段の等）                            | 41  |
| 球技ができる場所（バスケットボール、テニス、サッカー、キャッチボール、壁打ち練習等）    | 31  |
| 遊具（鉄棒、うんてい等）、砂場                               | 30  |
| 手洗い場、水飲み場等                                    | 28  |
| コンビニ、売店（軽食等）、自動販売機                            | 26  |
| 噴水、小川、水遊び場、池、釣り堀                              | 25  |
| ゴミ箱   | 15  |
| 健康づくりに取り組める器具                                 | 15  |
| 防災、防犯等設備（防災設備、防犯カメラ、防犯ブザー、交番）                 | 14  |
| ドッグラン等  | 14  |
| 芝生  | 11  |
| 現状で満足   | 10  |
| バーベキュー、火気使用が可能・花火ができる場所、キャンプ施設                | 10  |
| ウォーキング、ランニングコース（距離表示等）                        | 9   |
| 駐車場、駐輪場                                       | 9   |
| 区画をわけてほしい（幼児が安心して遊べるように、遊びごとに、大人がゆったり過ごすことができ | 7   |
| 街灯、照明   | 5   |
| その他（集会所、図書館、勉強スペース、キッチンカー、植物園、イベント、wi-fi等）    | 82  |

問 13：緑化のための助成制度の認知度

**緑化のための助成制度を知らない人が多い**

「みどりの協定」、「生垣助成」どちらの制度も約8割は「知らない」と回答しているが、約4割の人は「知らなかったが活用してみたい」と回答している。この傾向は2017年とほぼ同じで、制度について引き続き周知、啓発が必要である。



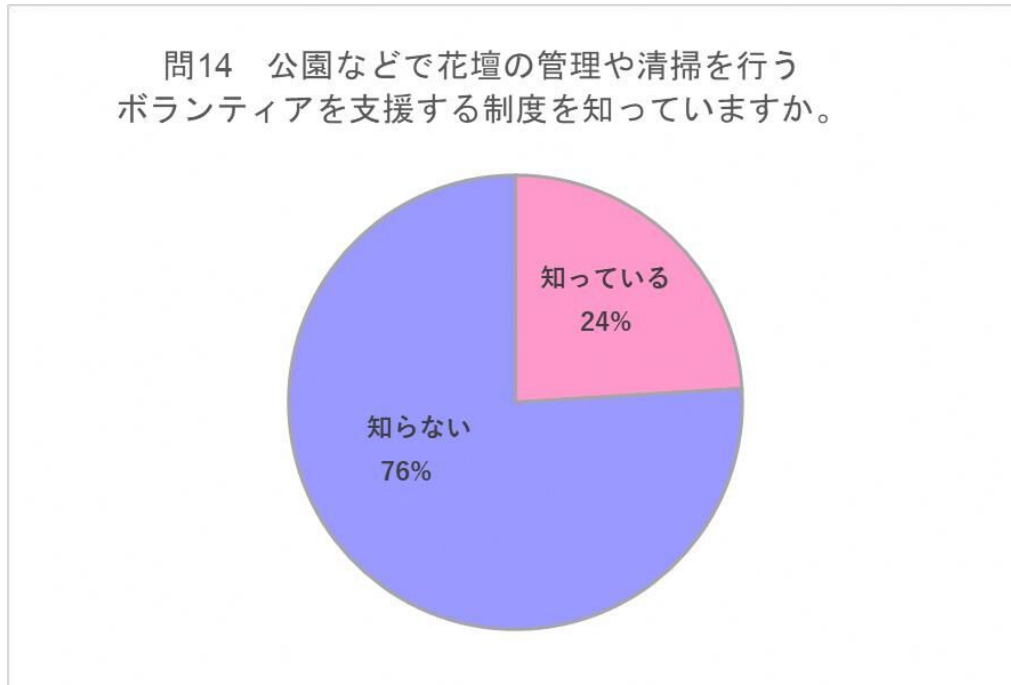
最もあてはまるもの1つを選択

|        | 利用したことがある | 知っている | 知らなかったが活用してみたい | 知らない、特に興味はない |
|--------|-----------|-------|----------------|--------------|
| みどりの協定 | 6         | 104   | 289            | 339          |
| 生垣助成   | 8         | 92    | 275            | 355          |

問 14：みどりのボランティア制度の認知度

**みどりのボランティア制度を知らない人が多い**

公園などで行うボランティア制度について、7割以上の方が「知らない」と回答しているが、「緑化のための助成制度」より認知度が高い。



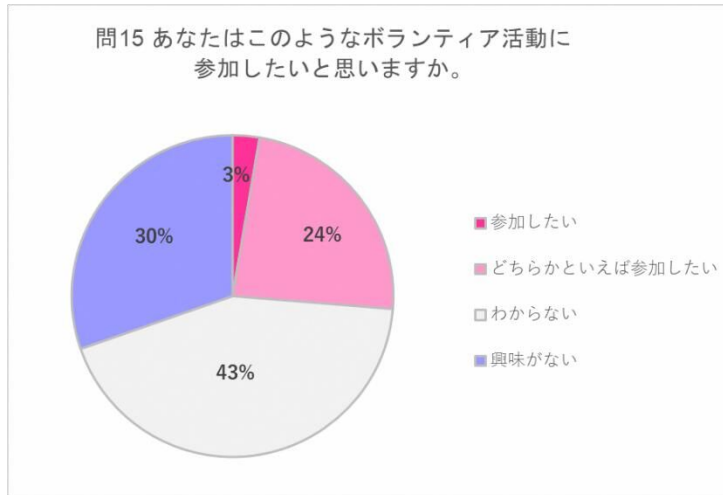
|          |           |
|----------|-----------|
| 回答数者 749 | どちらか1つを選択 |
|          | 回答数       |
| 知っている    | 180       |
| 知らない     | 569       |

問 15：みどりのボランティア活動への参加意欲について

「わからない」と回答した人が多い

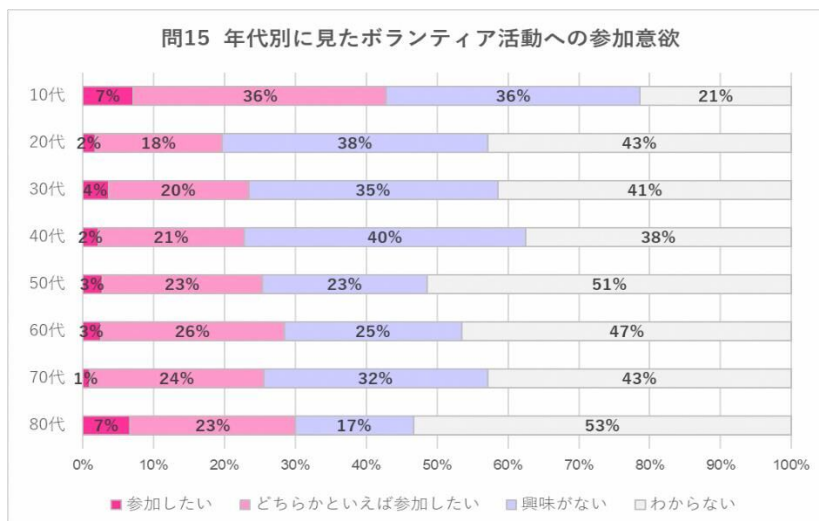
参加したい人が気軽に参加できるよう周知が必要

公園などで行うボランティア活動への参加については「わからない」と回答する人が最も多く4割以上を占めている。「参加したい」、「どちらかといえば参加したい」と回答した人と「興味がない」と回答した人はどちらも約3割で同じぐらいの割合である。参加したい人が気軽に参加できる仕組みづくりや周知が課題。



|               |                |
|---------------|----------------|
| 回答者数 742      | 最もあてはまるもの1つを選択 |
|               | 回答数            |
| 参加したい         | 20             |
| どちらかといえば参加したい | 175            |
| わからない         | 322            |
| 興味がない         | 225            |

年代別に見ると、20代～40代は「興味がない」と回答した人の割合が高い。10代の「参加したい」、「どちらかといえば参加したい」と回答した人の割合は2017年より1割程度高くなっている。



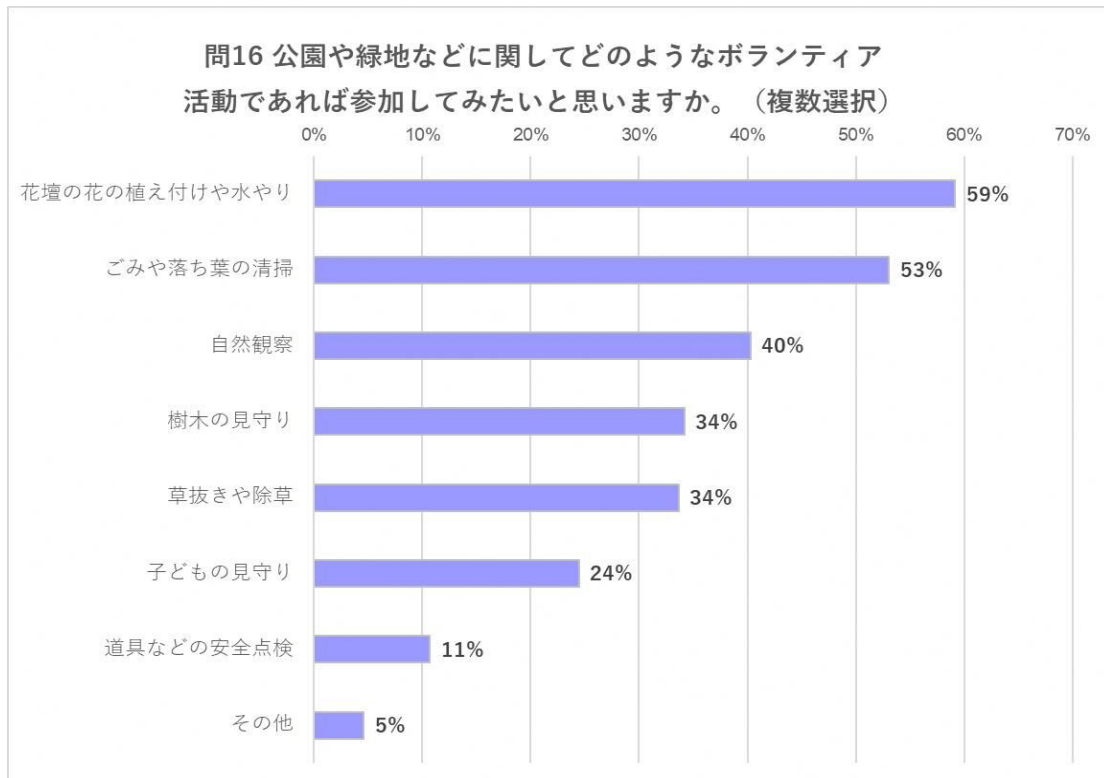
問 16：参加してみたいボランティア活動について

※問 15 で「参加したい」、「どちらかといえば参加したい」を選んだ人にご回答頂いた。

参加してみたいボランティアは

「花壇の植え付けや水やり」、「ごみや落ち葉の清掃」など

「花壇の花の植え付けや水やり」、「ごみや落ち葉の清掃」と回答した人が多く、2017 年の傾向と類似している。次いで「自然観察」と回答した人が多い。



回答者数 196      複数回答

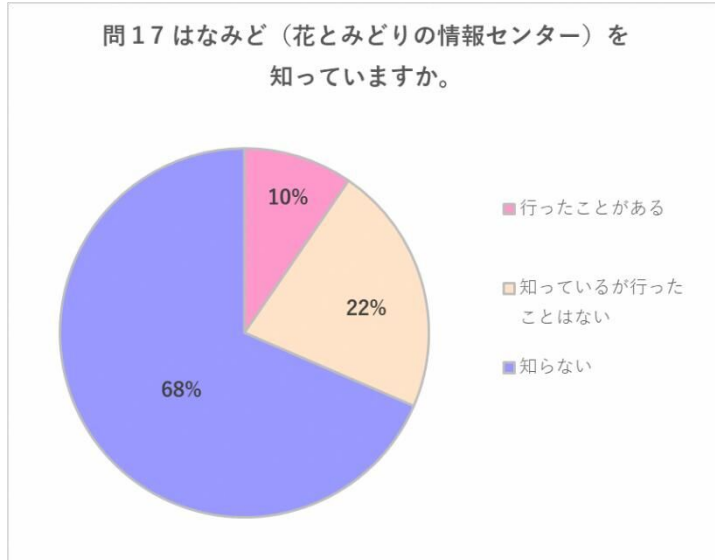
【p37 参考資料あり】

|               | 回答数 |
|---------------|-----|
| 花壇の花の植え付けや水やり | 116 |
| ごみや落ち葉の清掃     | 104 |
| 自然観察          | 79  |
| 樹木の見守り        | 67  |
| 草抜きや除草        | 66  |
| 子どもの見守り       | 48  |
| 道具などの安全点検     | 21  |
| その他           | 9   |

問 17：花とみどりの情報センターの認知度について

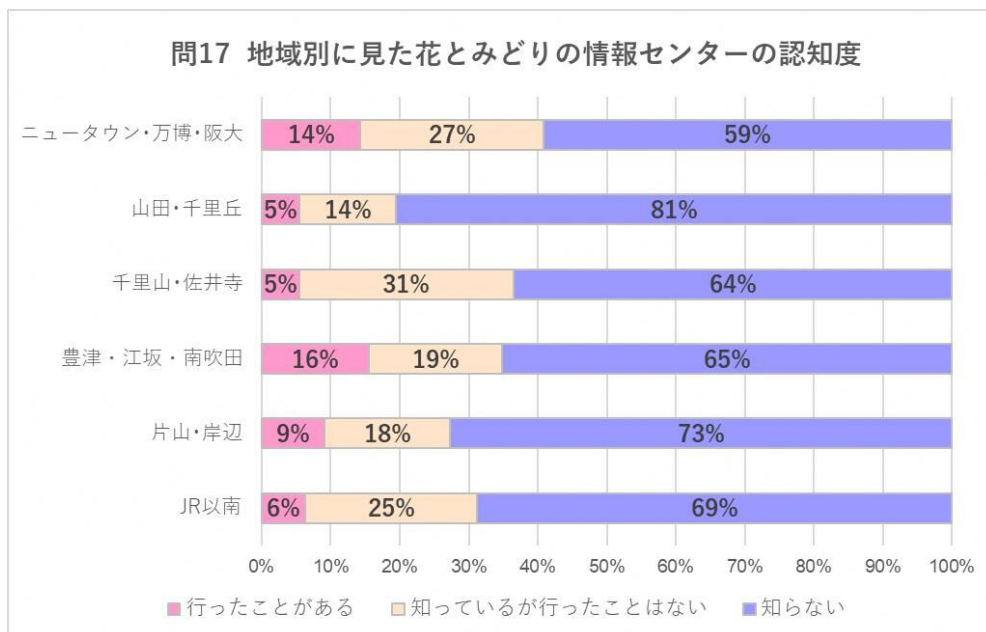
「花とみどりの情報センター」を知らない人が多い

花とみどりの情報センターの認知度については、約7割の人が「知らない」と回答しており、まだ十分認知されていないことがわかる。



| 回答者数 743       | 最もあてはまるもの1つを選択 |
|----------------|----------------|
| 回答数            |                |
| 行ったことがある       | 71             |
| 知っているが行ったことはない | 163            |
| 知らない           | 509            |

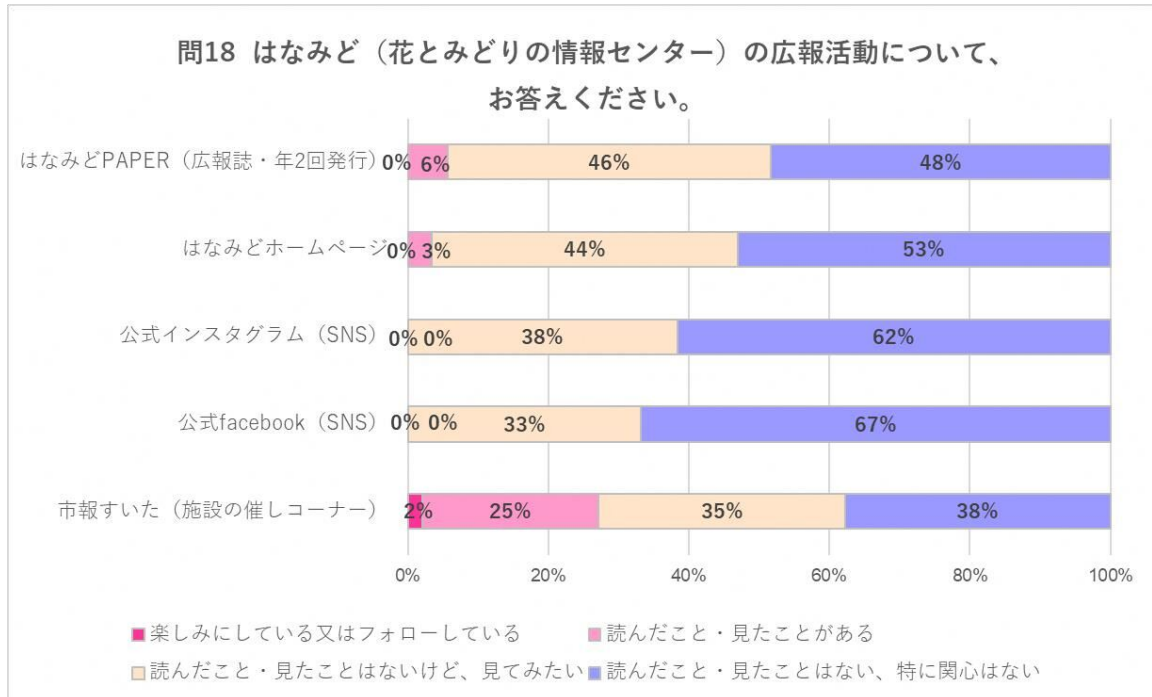
地域別にみると「花とみどりの情報センター」がある「ニュータウン・万博・阪大地域」での認知度や以前「江坂花とみどりの情報センター」があった「豊津・江坂・南吹田地域」での認知度がやや高い傾向がある。全体的に見ると約6割以上の方にまだ認知されていない。



問 18：花とみどりの情報センターの広報活動の認知度について

「はなみど」の情報は「市報すいた」で見る人が多い

花とみどりの情報センターの広報活動の中では「市報すいた（施設の催しコーナー）」の認知度が一番高く、イベント予約も市報を見た人からの問い合わせが多くなっている。次いで広報誌「はなみど PAPER」や「はなみどホームページ」の認知度となるが、全体的には市報以外は約 9 割の人が広報活動の媒体を「見たことはない」との回答で、特に SNS の認知度は低く、広報の工夫が課題である。



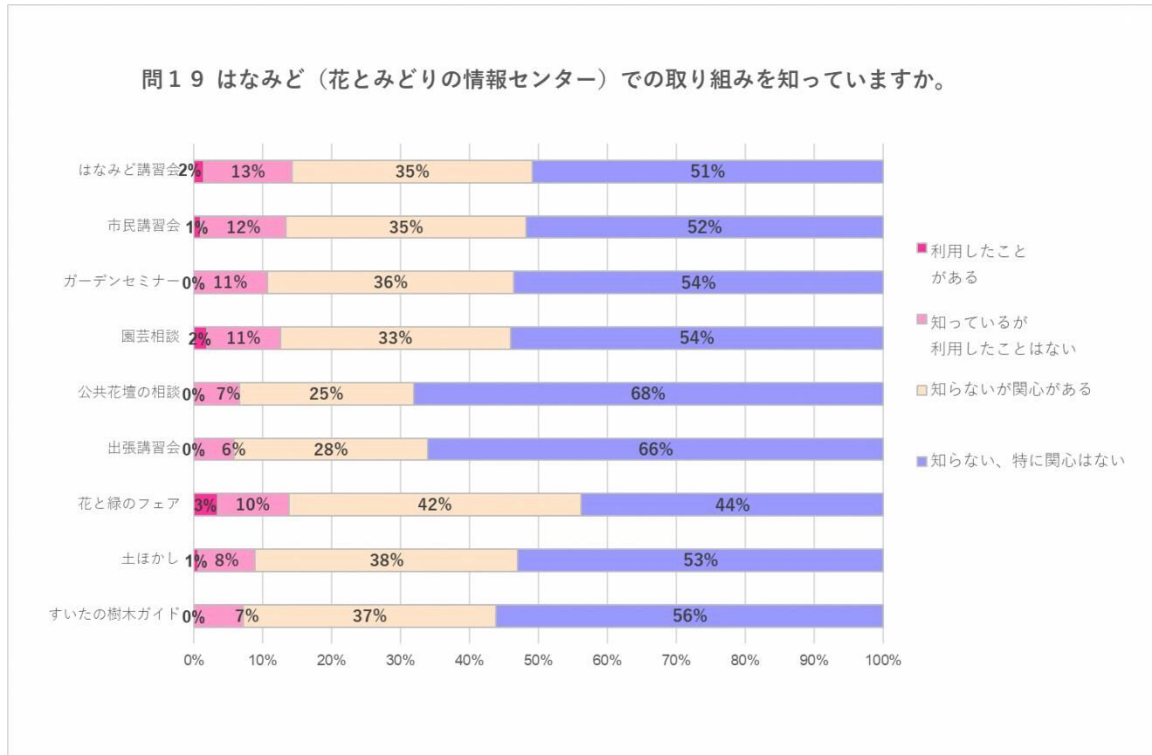
最もあてはまるもの 1 つを選択

|                       | 楽しみにしている又はフォローしている | 読んだこと・見たことがある | 読んだこと・見たことはないけど、見てみたい | 読んだこと・見たことはない、特に興味はない |
|-----------------------|--------------------|---------------|-----------------------|-----------------------|
| はなみどPAPER (広報誌・年2回発行) | 0                  | 41            | 330                   | 347                   |
| はなみどホームページ            | 0                  | 24            | 309                   | 376                   |
| 公式Instagram (SNS)     | 0                  | 0             | 269                   | 432                   |
| 公式facebook (SNS)      | 0                  | 0             | 232                   | 468                   |
| 市報すいた (施設の催しコーナー)     | 15                 | 181           | 253                   | 272                   |

問 19：花とみどりの情報センターの取り組みの認知度について

**必要な人にサービスが届く「仕組みづくり」と周知を**

取り組みの中では「花と緑のフェア」、「はなみど講習会」、「市民講習会」、「園芸相談」の認知度の割合が高いが、いずれの取り組みも「知らない、特に興味はない」と回答している人が約半数となっている。特に「公共花壇の相談」や「出張講習会」についてはその割合が高くなっている。「知らないが興味がある」と回答している人も3割前後いることから、取り組みについて引き続き周知、啓発していく必要がある。



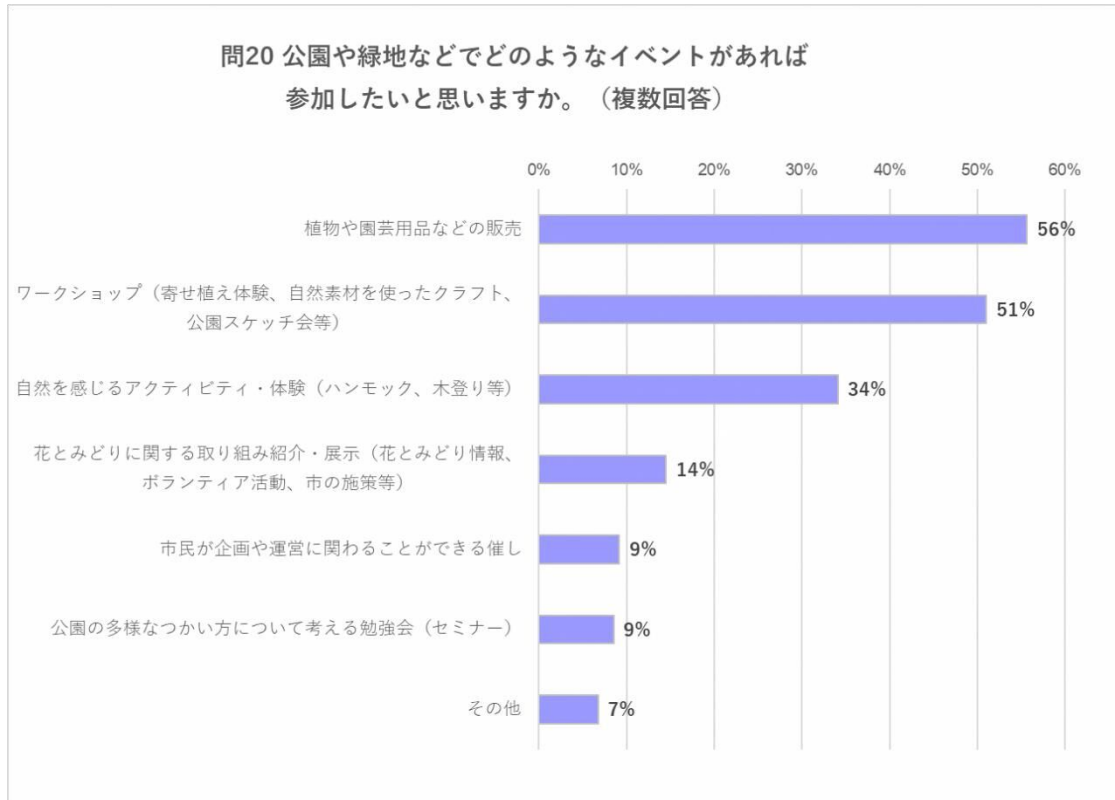
最もあてはまるもの1つを選択

|           | 利用したことがある | 知っているが利用したことはない | 知らないが興味がある | 知らない、特に興味はない |
|-----------|-----------|-----------------|------------|--------------|
| はなみど講習会   | 11        | 93              | 254        | 370          |
| 市民講習会     | 7         | 90              | 252        | 374          |
| ガーデンセミナー  | 0         | 77              | 257        | 386          |
| 園芸相談      | 14        | 77              | 242        | 391          |
| 公共花壇の相談   | 0         | 47              | 181        | 487          |
| 出張講習会     | 0         | 42              | 200        | 471          |
| 花と緑のフェア   | 25        | 75              | 308        | 318          |
| 土ほかし      | 5         | 59              | 274        | 381          |
| すいたの樹木ガイド | 0         | 51              | 260        | 398          |

問 20：公園や緑地などで、あれば参加したいみどりに関するイベント

「植物や園芸用品の販売」、「体験型のワークショップ」など

公園や緑地で、あれば参加したいイベントとして「植物や園芸用品の販売」、「ワークショップ（寄せ植え体験、自然素材を使ったクラフト、公園スケッチ会等）」と回答した人が半数以上となった。次いで自然を感じるアクティビティ・体験と答えた人が約3割となった。



回答者数 622

複数回答

【 p 38 参考資料あり】

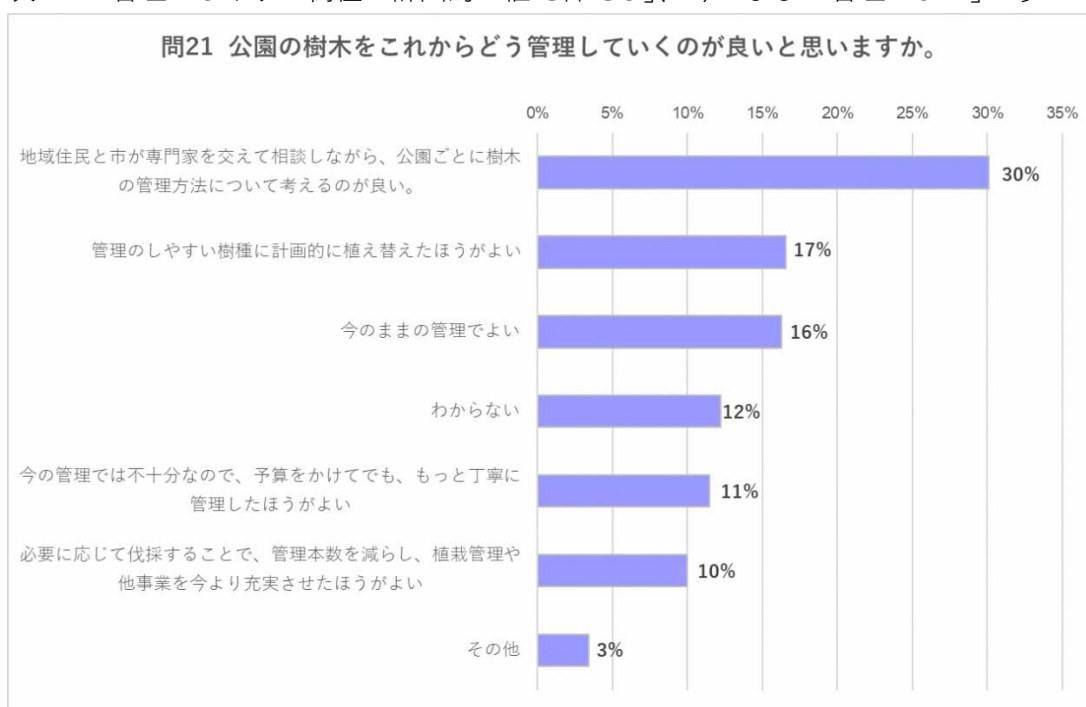
|  | 回答数 |
|--|-----|
| 植物や園芸用品などの販売                               | 346 |
| ワークショップ（寄せ植え体験、自然素材を使ったクラフト、公園スケッチ会等）      | 317 |
| 自然を感じるアクティビティ・体験（ハンモック、木登り等）               | 212 |
| 花とみどりに関する取り組み紹介・展示（花とみどり情報、ボランティア活動、市の施策等） | 90  |
| 市民が企画や運営に関わることができる催し                       | 57  |
| 公園の多様なつikai方について考える勉強会（セミナー）               | 53  |
| その他  | 42  |

問 21：公園の樹木をこれからどう管理していくのがよいかについて

**地域住民と市が専門家を交えて相談しながら  
公園ごとに樹木の管理方法について考えるのがよい**

「地域住民と市が専門家を交えて相談しながら、公園ごとに樹木の管理方法について考えるのがよい」と答えた人が最も多く全体の約3割となった。

次いで「管理のしやすい樹種に計画的に植え替える」、「今のままの管理でよい」が多かった。



回答者数 671

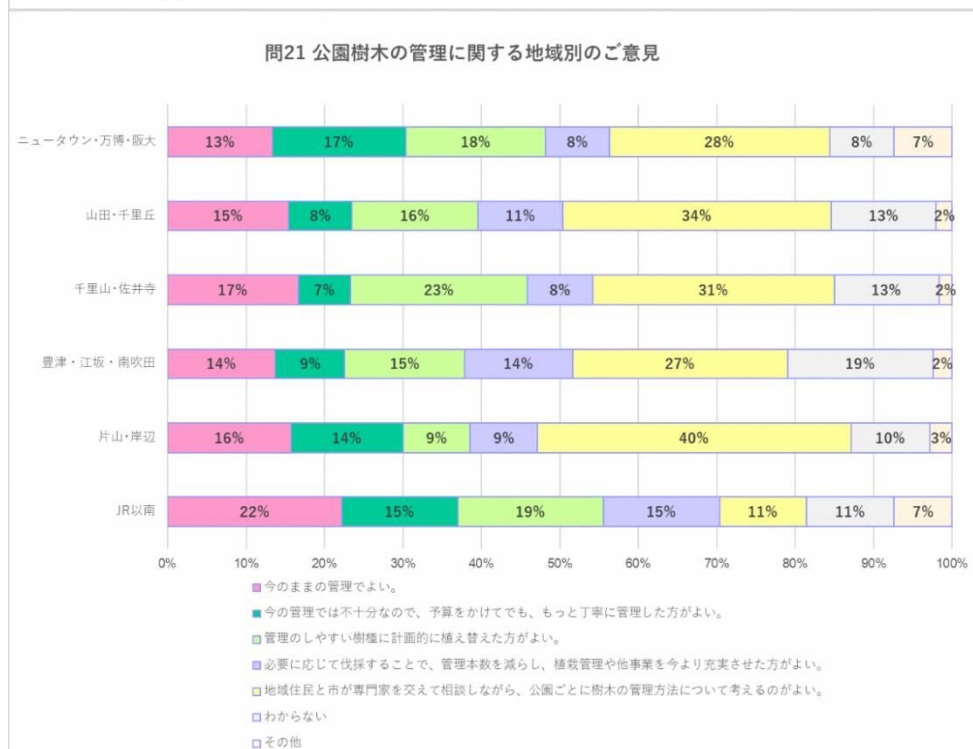
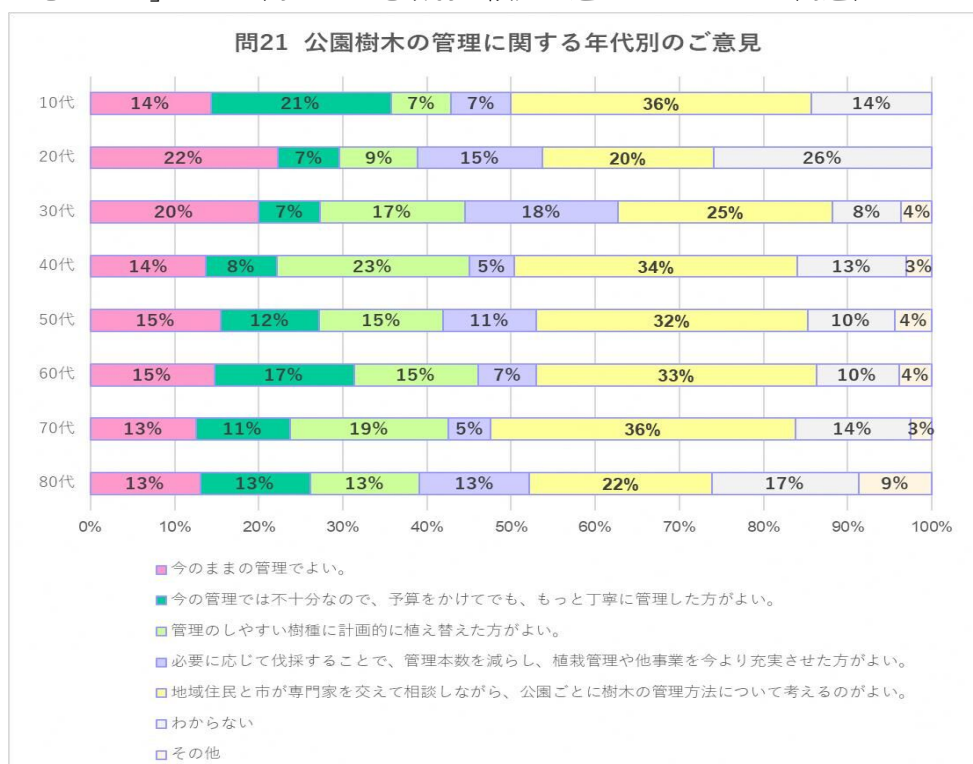
最もあてはまるもの1つを選択

|   | 回答数 |
|---|-----|
| 地域住民と市が専門家を交えて相談しながら、公園ごとに樹木の管理方法について考えるのが良い。 | 202 |
| 管理のしやすい樹種に計画的に植え替えたほうがよい                      | 111 |
| 今のままの管理でよい                                    | 109 |
| わからない   | 82  |
| 今の管理では不十分なので、予算をかけてでも、もっと丁寧に管理したほうがよい         | 77  |
| 必要に応じて伐採することで、管理本数を減らし、植栽管理や他事業を今より充実させたほうがよい | 67  |
| その他   | 23  |

【p 39,40 参考資料あり】

その他の主なご意見として「民間に依頼したり、専門家の意見を聞いてコストを下げる」、「安心・安全のために必要な管理を希望」、「伐採した後の木を何かに活かさないか」といった声が挙げられた。

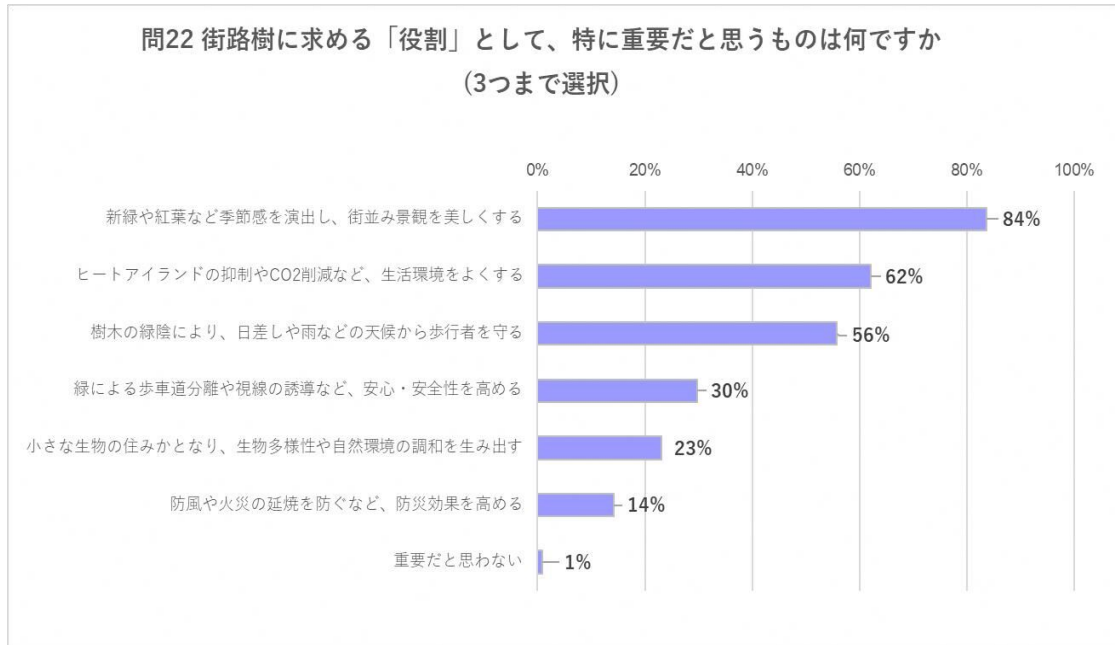
どの年代も比較的「地域住民と市が専門家を交えて相談しながら、公園ごとに樹木の管理方法について考えるのがよい」を選択した人が多かった。地域別の傾向をみると JR 以南以外は「地域住民と市が専門家を交えて相談しながら、公園ごとに樹木の管理方法について考えるのがよい」が最も多く、JR 以南では「今のままの管理でよい」の回答割合が高くなっていて傾向の違いがうかがえる。問 10 で「自宅周辺には公園や緑地などのみどりが多くあると感じるか」という問いでも地域別の傾向の違いがあったので関連性があるかもしれない。



問 22：街路樹に求める「役割」として重要に思うもの

**新緑や紅葉など季節感を演出し、街並み景観を美しくする**

「新緑や紅葉など季節感を演出し、街並み景観を美しくする」と回答した人が最も多く全体の8割以上となった。次いで「ヒートアイランドの抑制やCO2削減」、「緑陰により歩行者を守る」が半数を超える回答であった。



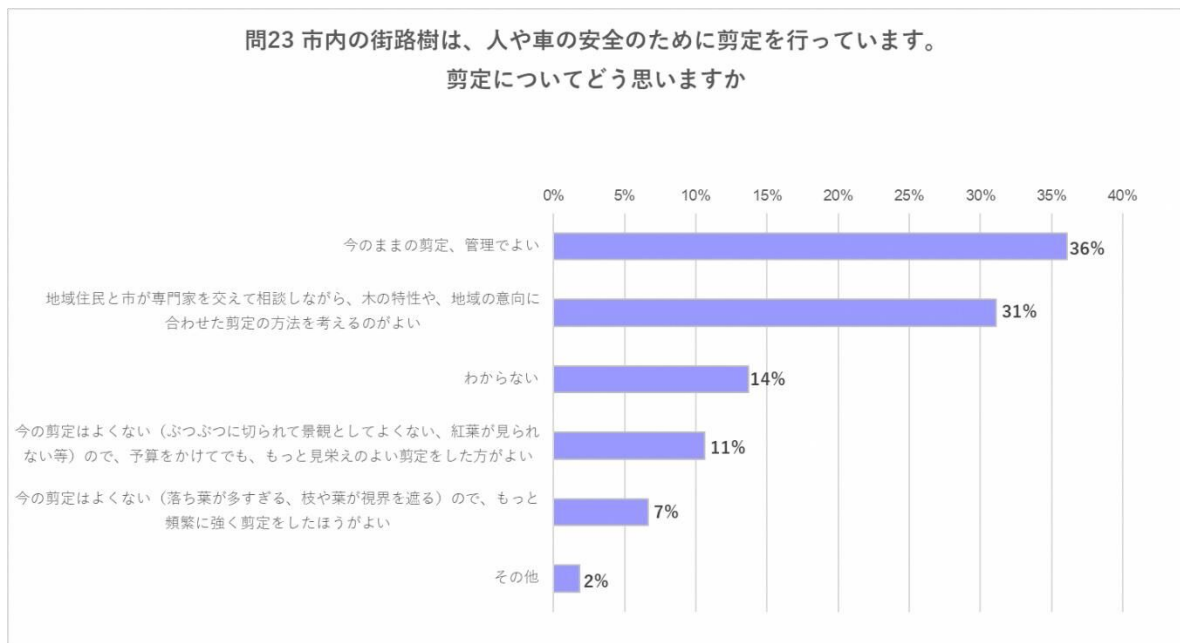
回答者数 706      3つまで選択

|                                 | 回答数 |
|---------------------------------|-----|
| 新緑や紅葉など季節感を演出し、街並み景観を美しくする      | 591 |
| ヒートアイランドの抑制やCO2削減など、生活環境をよくする   | 438 |
| 樹木の緑陰により、日差しや雨などの天候から歩行者を守る     | 394 |
| 緑による歩車道分離や視線の誘導など、安心・安全性を高める    | 210 |
| 小さな生物のすみかとなり、生物多様性や自然環境の調和を生み出す | 163 |
| 防風や火災の延焼を防ぐなど、防災効果を高める          | 100 |
| 重要だと思わない                        | 6   |

問 23：街路樹の剪定についてどう思うか

**今のままの管理でよい、  
もしくは専門家を交えて相談しながら  
地域の意向に合わせた剪定方法について考えるのがよい**

「今のままの剪定、管理でよい」、「地域住民と市が専門家を交えて相談しながら、木の特性や地域の意向に合わせた剪定方法を考えるのがよい」と答えた人が多く全体の約 3 割となった。一方で、それぞれの理由で「今の剪定はよくない」と答えた人も 2 割近くとなっている。



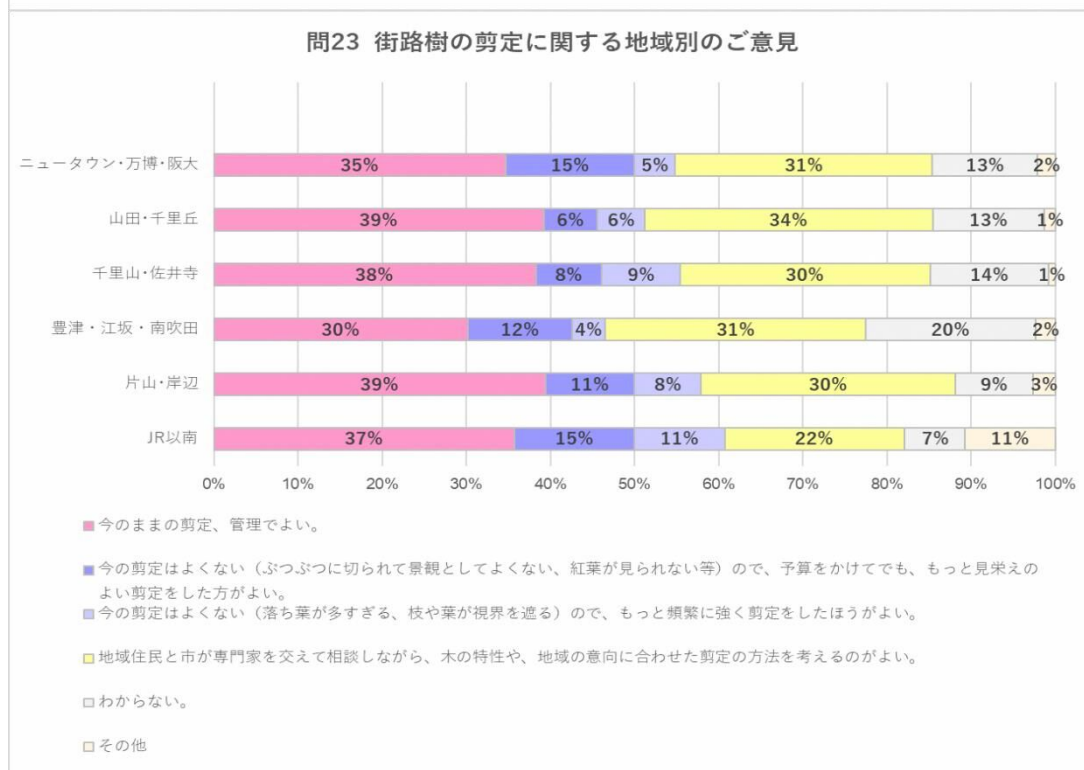
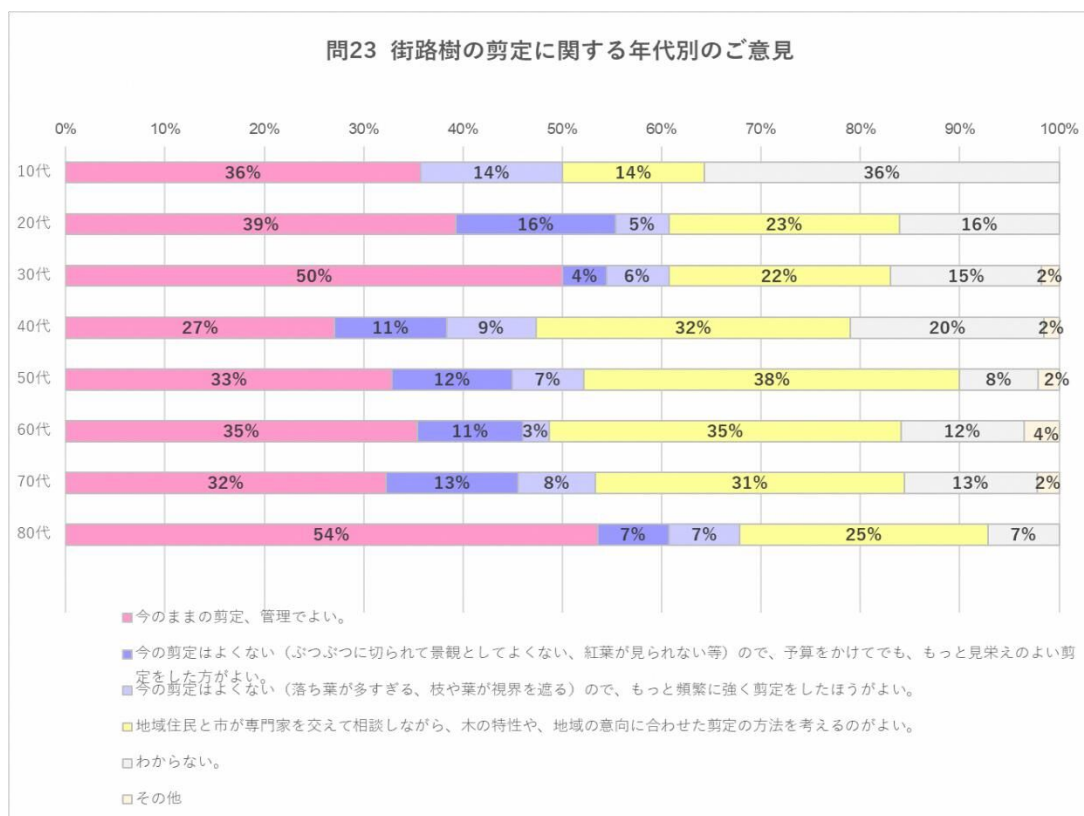
|          |                  |
|----------|------------------|
| 回答者数 707 | 最もあてはまるもの 1 つを選択 |
|----------|------------------|

|   | 回答数 |
|---|-----|
| 今のままの剪定、管理でよい   | 255 |
| 地域住民と市が専門家を交えて相談しながら、木の特性や、地域の意向に合わせた剪定の方法を考えるのがよい                    | 220 |
| わからない   | 97  |
| 今の剪定はよくない（ぶつぶつに切られて景観としてよくない、紅葉が見られない等）ので、予算をかけてでも、もっと見栄えのよい剪定をした方がよい | 75  |
| 今の剪定はよくない（落ち葉が多すぎる、枝や葉が視界を遮る）ので、もっと頻繁に強く剪定をしたほうがよい                    | 47  |
| その他   | 13  |

【p 40 参考資料あり】

その他の主なご意見として「安全管理のため、妨げになるところは剪定してほしい」、「街路樹を減らし、予算を別のところの使ってほしい」、「老化や病気等の理由以外で街路樹を切ることに反対」といった声が挙げられた。

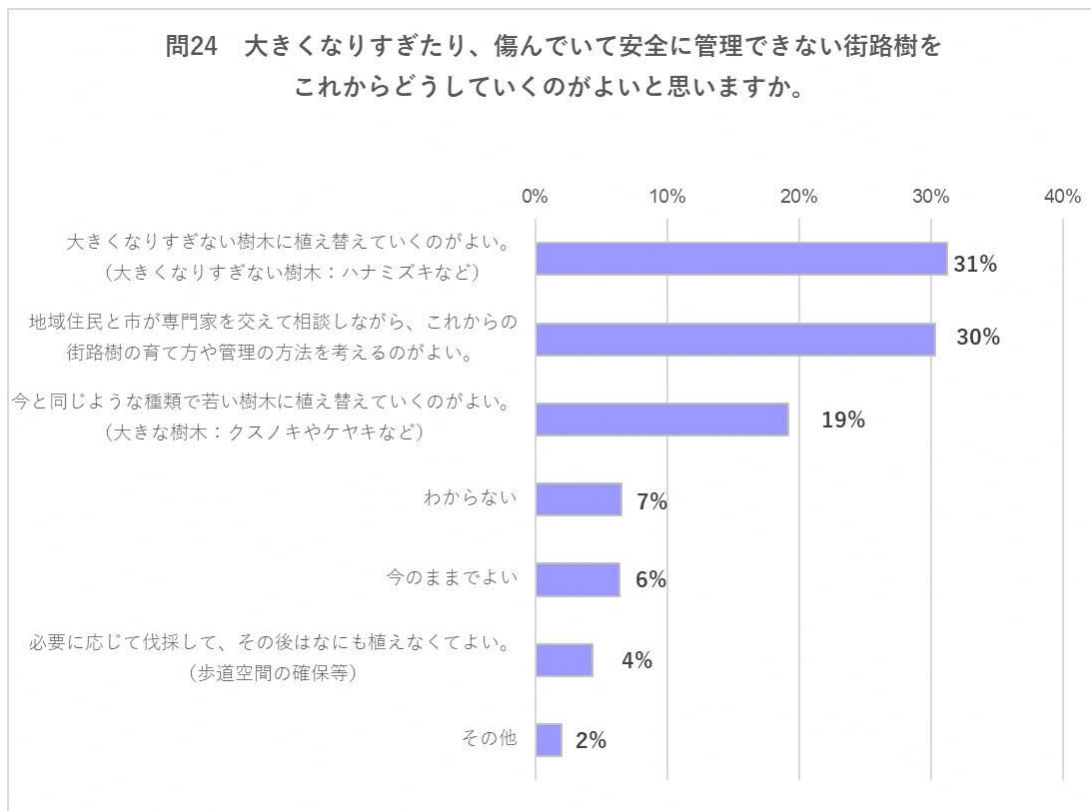
「10～30代」、「70代、80代」は「今のままの剪定、管理でよい」と回答した人が最も多く、「40代、50代」では「地域住民と市が専門家を交えて相談しながら、木の特性や、地域の意向に合わせた剪定の方法を考えるのがよい」、「今のままの剪定、管理でよい」と回答した人の割合が高かった。地域別に見ても、この2つの回答の割合が高くなっており、どの地域においても似た傾向が表れている。



問 24：安全に管理できない街路樹をこれからどうしていくのがよいか

**大きくなりすぎない樹木に植え替える、  
もしくは専門家を交えて相談しながら  
育て方や管理方法について考えるのがよい**

「大きくなりすぎない樹木に植え替えていくのがよい」・「地域住民と市が専門家を交えて相談しながら、これからの街路樹の育て方や管理の方法を考えるのがよい」と回答した人の割合が多く、約全体の3割となった。安全に管理できない街路樹に関しては「今のままでよい」と回答した人の割合は少なかった。



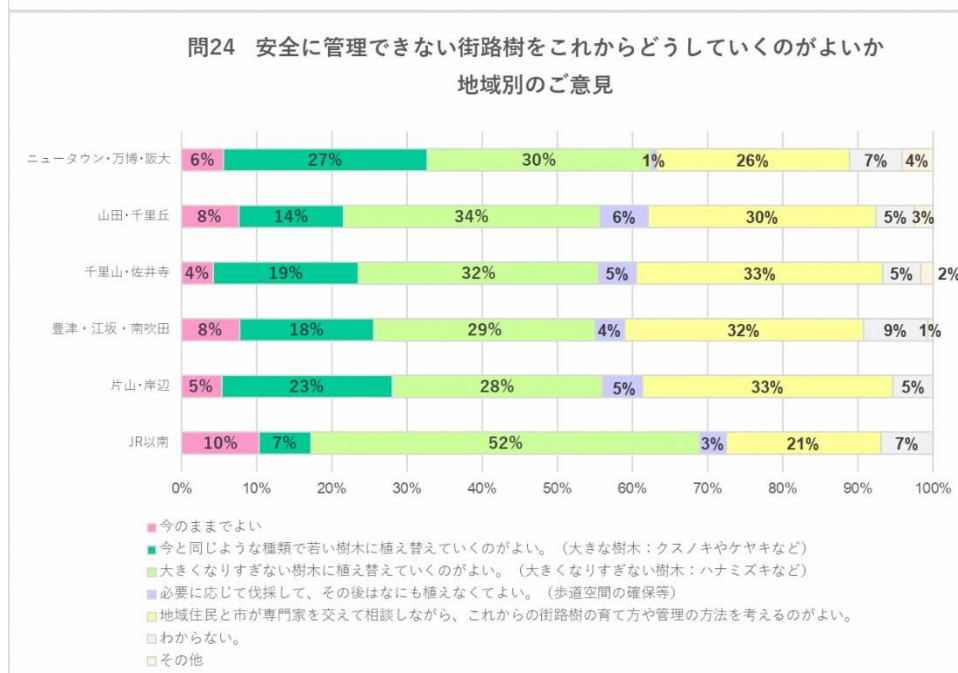
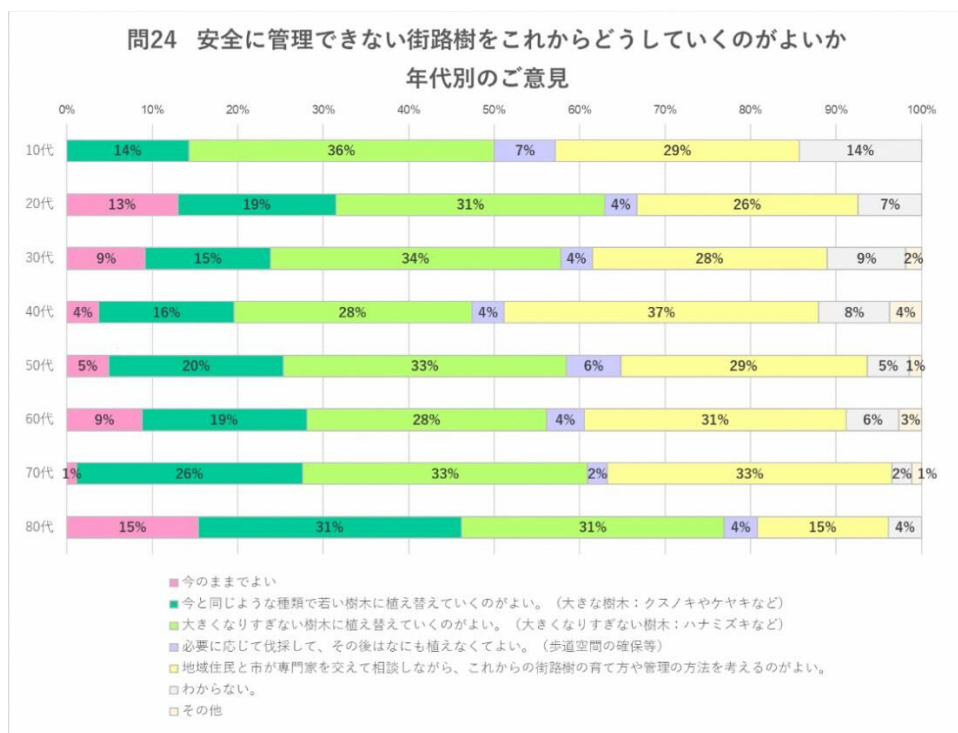
回答者数 692      最もあてはまるもの1つを選択

|  | 回答数 |
|--|-----|
| 大きくなりすぎない樹木に植え替えていくのがよい。(大きくなりすぎない樹木：ハナミズキなど)    | 216 |
| 地域住民と市が専門家を交えて相談しながら、これからの街路樹の育て方や管理の方法を考えるのがよい。 | 210 |
| 今と同じような種類で若い樹木に植え替えていくのがよい。(大きな樹木：クスノキやケヤキなど)    | 133 |
| わからない  | 45  |
| 今のままでよい  | 44  |
| 必要に応じて伐採して、その後はなにも植えなくてよい。(歩道空間の確保等)             | 30  |
| その他  | 14  |

【p 40,41 参考資料あり】

その他の主なご意見として「大きな木はそのままよい」、「傷みやすい木、危険と思われる木は街路樹に適したものに植え替える」、「植える場所を考慮すべき」といった声が挙げられた。

「大きくなりすぎたり、傷んでいて安全に管理できない街路樹をこれからどうしていくのがよいか」について、どの年代や地域でも「大きくなりすぎない樹木に植え替えていくのがよい」、「地域住民と市が専門家を交えて相談しながら、これからの街路樹の育て方や管理の方法を考えるのがよい」を選んだ人が多かった。「今と同じような大きな樹種で若い樹木に植え替えていくのがよい」というご意見については「70代、80代」かつ「ニュータウン・万博・阪大」地域に住む人がこの回答を選んだ割合が高かったことから、千里ニュータウンができて60年のなかで、樹木が大きくなり成長して街の風景が出来上がっていく様子を見届けてきた世代や地域ならではの傾向が表れているようにも感じた。



問 25：公園の樹木や街路樹の育て方、みどりのまちづくりについてのご意見（自由記入）

## 公園の樹木や街路樹の安全な管理と 自然と調和するみどりのまちづくりを

「公園の樹木や街路樹の育て方に、みどりのまちづくりについてご意見」としては、災害や見通しが悪い場所、根上がりしている場所など安心安全のための樹木管理、日常点検をしてほしいという声が多く見受けられた。その他、落ち葉や木の実、草かりに関するご意見や吹田の豊かなみどりや街並みを維持し続けて欲しいというご意見も多かった。

| ご意見分類   | 件数  |
|---------|-----|
| 要望・苦情   | 145 |
| 称賛・現状維持 | 30  |
| その他・ご意見 | 36  |

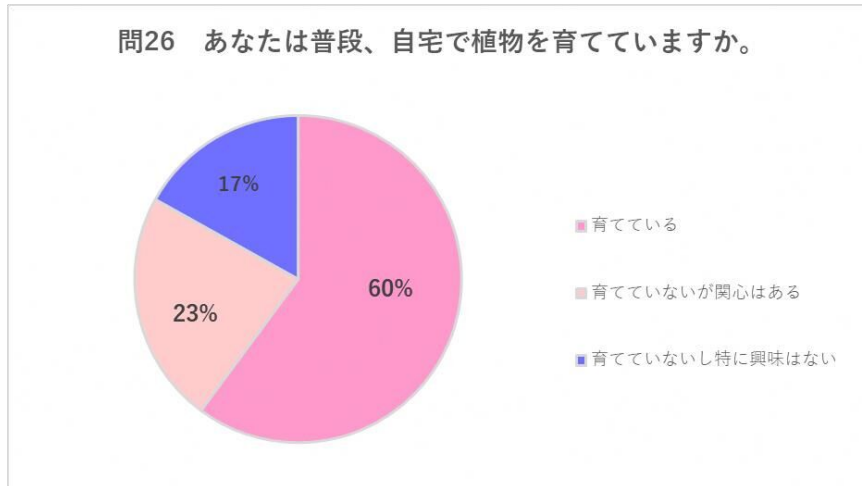
### 【主なご意見 p 41-50 別添資料あり】

|  |
|--|
| ・台風や災害に備えて、普段から安心安全のための管理・点検をしてほしい。              |
| ・場所や人通りを加味して樹木の種類や管理方法を変えるなど、自然と安全とのバランスを計って欲しい。 |
| ・道路の根上がりが危ない。                                    |
| ・見通しが悪いところの剪定をしてほしい。                             |
| ・落ち葉が排水溝につまる。                                    |
| ・木の実を何とかしてほしい。すべる、銀杏の匂いが気になる。                    |
| ・草刈りの頻度を増やしてほしい。                                 |
| ・みどりの維持し続けてほしい。                                  |
| ・樹名札をもっとつけてほしい。                                  |
| ・季節感や生き物の多様性を大事にしてほしい。                           |
| ・剪定されすぎて残念に思う。（大きな木がある街の風景や古い木を残してほしい。桜が見られず残念）  |
| ・予算をかけてきれいにしてほしい。                                |
| ・予算をかけすぎず管理してほしい。                                |
| ・管理のしやすい樹木に更新していくのはどうか。                          |
| ・みどりも多くきれいに管理されていて、吹田に住んでよかったと感じる。               |

問 26：植物を育てることへの意識

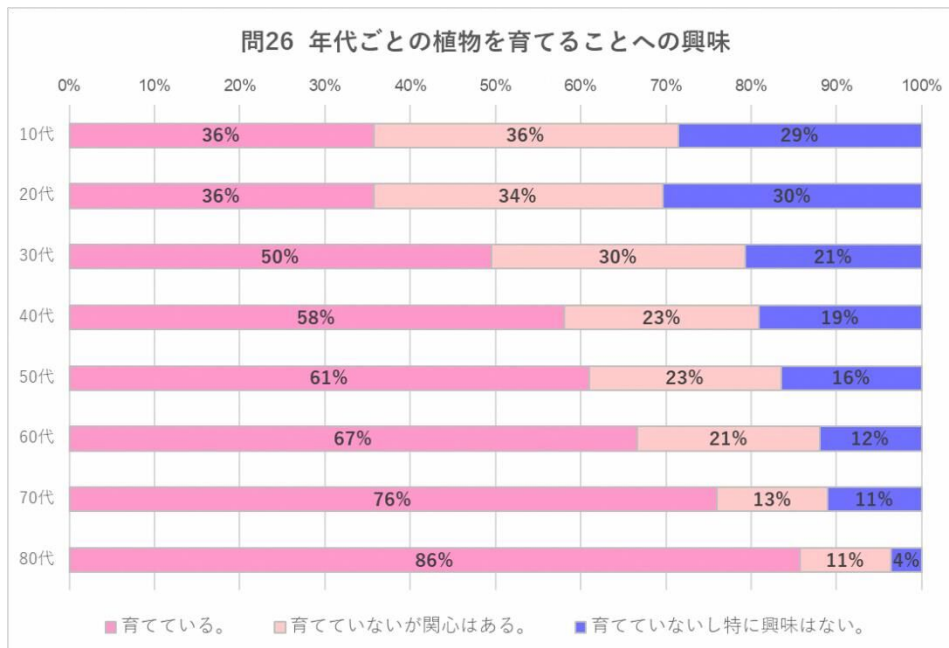
### 植物を自宅で育てている人は約 6 割

自宅で植物を育てている人は約 6 割。「育てていないが関心はある」と回答する人が約 2 割と合わせて 8 割の人が植物を育てることに関心を持っている。2017 年の傾向とほぼ同様である。



|                |                  |
|----------------|------------------|
| 回答者数 710       | 最もあてはまるもの 1 つを選択 |
|                | 回答数              |
| 育てている          | 427              |
| 育てていないが関心はある   | 163              |
| 育てていないし特に興味はない | 120              |

年代が高くなるにつれ、「植物を育てている」人の割合が高くなっている。

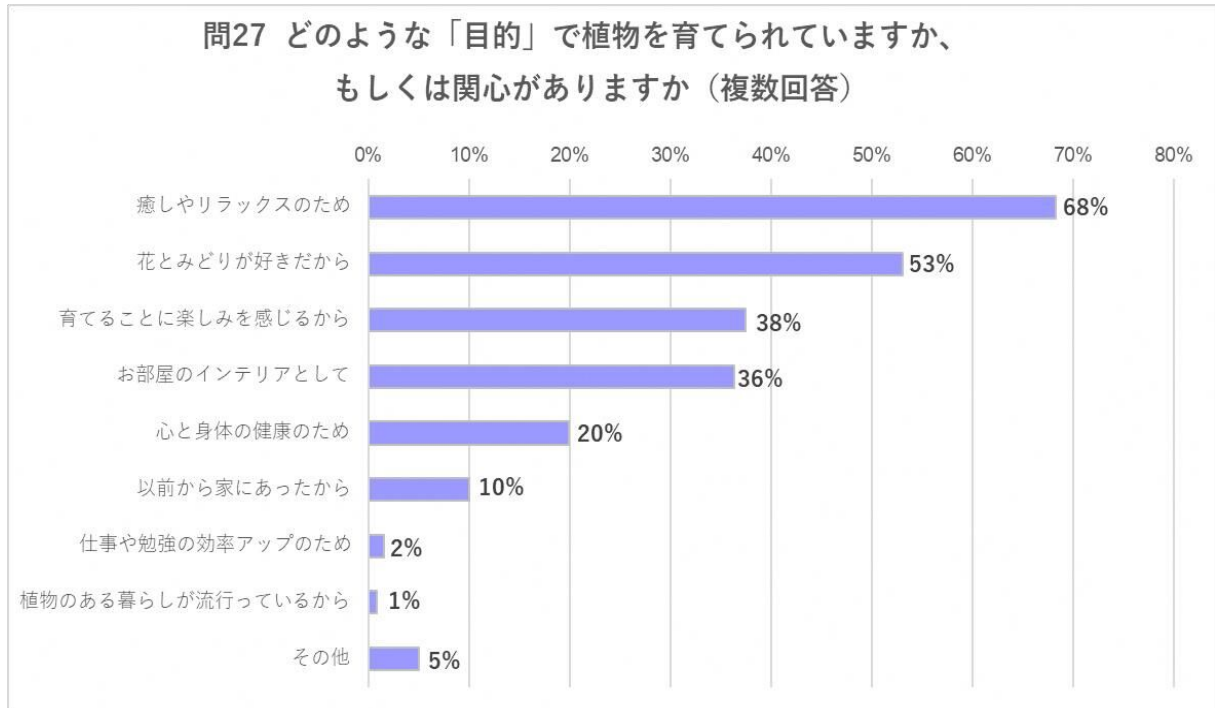


問 27：植物を育てる目的

※問 26 で「育てている」、「育てていないが関心がある」を選んだ人にご回答頂いた。

**植物を育てる目的は「癒しやリラックスのため」**

「癒しやリラックスのため」と回答した人が全体の7割と最も多く、次いで、「花やみどりが好きだから」が多かった。コロナ禍をとおして、植物から「癒し」や「育てる楽しみ」を感じているというコメントも見受けられた。



|          |      |
|----------|------|
| 回答者数 578 | 複数回答 |
|----------|------|

|                   | 回答数 |
|-------------------|-----|
| 癒しやリラックスのため       | 395 |
| 花とみどりが好きだから       | 307 |
| 育てることに楽しみを感じるから   | 217 |
| お部屋のインテリアとして      | 210 |
| 心と身体の健康のため        | 115 |
| 以前から家にあったから       | 58  |
| 仕事や勉強の効率アップのため    | 9   |
| 植物のある暮らしが流行っているから | 5   |
| その他               | 29  |

【その他の主なご意見】

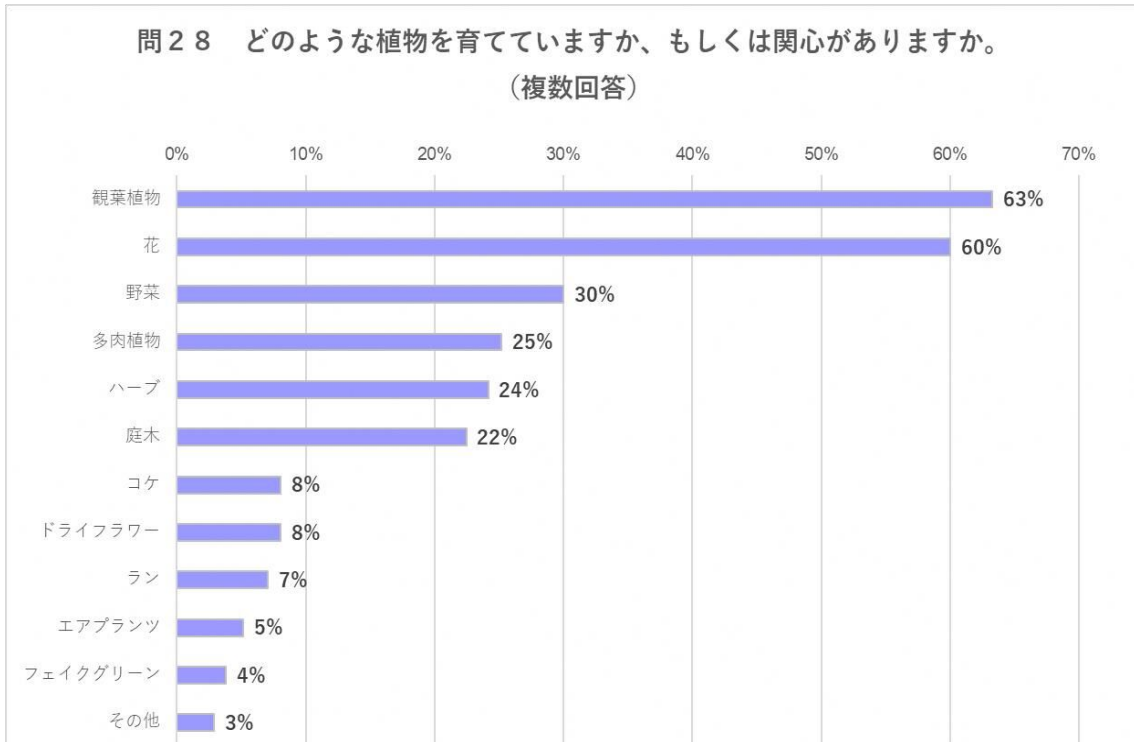
| 【その他】                     |   |
|---------------------------|---|
| ・子どものため（喜ぶから、植物とふれあってほしい） | 9 |
| ・植物をプレゼントとしてもらったため        | 6 |
| ・収穫して食べるため                | 4 |

問 28：どのような植物を育てているか

※問 26 で「育てている」、「育てていないが関心がある」を選んだ人にご回答頂いた。

**「観葉植物」や「花」を育てている人が多い**

「観葉植物」・「花」と答えた人が全体の6割で最も多かった。次いで「野菜」・「多肉植物」・「ハーブ」・「庭木」等を育てている人が約2～3割という結果になった。



回答者数 583      複数回答

|          | 回答数 |
|----------|-----|
| 観葉植物     | 369 |
| 花        | 350 |
| 野菜       | 175 |
| 多肉植物     | 147 |
| ハーブ      | 141 |
| 庭木       | 131 |
| コケ       | 47  |
| ドライフラワー  | 47  |
| ラン       | 41  |
| エアプランツ   | 30  |
| フェイクグリーン | 22  |
| その他      | 17  |

【その他の主なご意見】

| 【その他】  |   |
|--------|---|
| 果樹     | 5 |
| 盆栽     | 2 |
| 鉢植えの樹木 | 2 |
| 芝生     | 1 |
| 塊根植物   | 1 |

問 29：市内の公園やみどりについてのご意見（自由記入）

## 公園や道路の樹木・草花の維持管理や設備を整え

### みどり豊かな街を維持してほしい

市内の公園やみどりについて、多かった意見は以下の表のとおりである。称賛ではみどりが多く環境がよいというご意見が多くみられ、公園や街路の樹木・草花の維持管理や安心・安全を求める声は2017年アンケートの結果と類似している。「Park-PFI（公募設置管理制度）」の新設など2017年に都市公園法の改正の関係もあるのか、公園の柔軟な利活用に関するさまざまなご意見が今回のアンケートで見受けられた。

【主なご意見 p50-61 参考資料あり】

| ご意見分類  | 件数 |
|--|----|
| 称賛・現状満足  | 63 |
| 公園の樹木や草花の維持管理等に関するご意見（除草回数を増やす、定期的に行ってほしい。花や木を植えてほしい。丁寧な管理をしてほしい。樹名札の設置） | 36 |
| 遊具、トイレ、ゴミ箱、ベンチ等の公園施設、設備に関するご意見   | 30 |
| 道路や歩道の樹木・草花の維持管理に関するご意見  | 23 |
| 市内のみどりを維持、増やしてほしい。   | 17 |
| 公園に関する其他のご意見（管理コスト・予算の見直し、公園のリニューアルについて）                                 | 16 |
| 理想とする、あればよいと思う公園のイメージについて（安心・安全な、ゆっくりくつろげる、スポーツができる、カフェがある等）             | 13 |
| 公園の害虫や鳥害、野良猫に関するご意見  | 9  |
| ボール遊びのできる場所の整備に関するご意見（遊べる場所の確保、禁止ではないルールづくり）                             | 8  |
| 公園の商業化・商業施設不要等   | 7  |
| 公園利用者のマナーに関するご意見   | 6  |
| イベントに関するご意見（イベントを増やしてほしい、告知をしてほしい）                                       | 6  |
| ボランティアに関するご意見（安全に作業してほしい、ボランティアに参加したい、表彰してほしい等）                          | 4  |
| 公園の利用ルールに関するご意見（ポイ捨て禁止看板設置、花火について、区画のすみわけ等）                              | 4  |
| 家庭園芸に関するご意見（土の回収希望、園芸相談希望）   | 3  |
| 利用されていない、利用しづらい公園の対応を求めるご意見（防犯対策等）                                       | 3  |
| 其他のご意見（私有地に関するご意見、環境政策について、みどりの助成について）                                   | 26 |